

滋賀県草津市

令和8年度

当初予算概要



ひと・まち・ときをつなぐ

絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津

目次

会計別予算規模	1
一般会計款別総括表	2
一般会計性質別一覧表	3
予算編成方針(抜粋)	4
第6次草津市総合計画 第2期基本計画リーディング・プロジェクト	5
当初予算概要掲載事業一覧	6
▶ リーディング・プロジェクト事業の概要	
『未来を担うこども育成プロジェクト』	8
『地域の支え合い推進プロジェクト』	19
『にぎわい・再生プロジェクト』	29
『暮らしの安全・安心向上プロジェクト』	44
『DX推進プロジェクト』	52
▶ その他主要な事業の概要	
行財政マネジメント等	56
計画策定費一覧	60

別冊資料

令和8年度 当初予算の特徴

◎令和8年度 会計別予算規模

(単位:千円 %)

会 計 名	令 和 8 年 度 当 初			令 和 7 年 度 当 初		増 減 額	
	予 算 額	構 成 比	対 前 年 比	予 算 額	構 成 比		
一 般 会 計	69,520,000	66.1	6.7	65,180,000	64.6	4,340,000	
特 別 会 計	国民健康保険事業	11,107,500	10.6	△ 1.9	11,322,000	11.2	△ 214,500
	財産区	110,400	0.1	△ 44.5	198,900	0.2	△ 88,500
	学校給食センター	0	0.0	皆減	1,235,600	1.2	△ 1,235,600
	介護保険事業	10,976,200	10.4	4.8	10,478,200	10.4	498,000
	後期高齢者医療	2,439,600	2.3	16.8	2,089,500	2.1	350,100
	水道事業	4,997,000	4.8	10.2	4,534,000	4.5	463,000
	下水道事業	5,969,000	5.7	2.4	5,830,000	5.8	139,000
	特 別 会 計 の 計	35,599,700	33.9	△ 0.2	35,688,200	35.4	△ 88,500
合 計	105,119,700	100.0	4.2	100,868,200	100.0	4,251,500	

※学校給食センター特別会計については、令和7年度末をもって廃止し、令和8年度より一般会計へ移行。

◎令和8年度 一般会計款別総括表

(単位:千円%)

科 目	令 和 8 年 度 当 初			令 和 7 年 度 当 初		増 減 額
	予 算 額	構成比	対前年比	予 算 額	構成比	
1. 市税	27,452,622	39.5	3.3	26,566,019	40.8	886,603
2. 地方譲与税	321,000	0.5	△ 5.3	339,000	0.5	△ 18,000
3. 利子割交付金	40,000	0.1	90.5	21,000	0.0	19,000
4. 配当割交付金	241,000	0.3	23.6	195,000	0.3	46,000
5. 株式等譲渡所得割交付金	313,000	0.4	6.1	295,000	0.5	18,000
6. 法人事業税交付金	490,000	0.7	1.4	483,000	0.7	7,000
7. 地方消費税交付金	4,077,000	5.9	8.7	3,751,000	5.8	326,000
8. 地方特例交付金	220,000	0.3	33.3	165,000	0.3	55,000
9. 地方交付税	3,322,000	4.8	7.6	3,086,000	4.7	236,000
10. 交通安全対策特別交付金	13,667	0.0	△ 3.2	14,124	0.0	△ 457
11. 分担金及び負担金	333,321	0.5	2.6	324,879	0.5	8,442
12. 使用料及び手数料	1,223,777	1.8	△ 3.2	1,263,794	1.9	△ 40,017
13. 国庫支出金	13,901,559	20.0	4.5	13,300,980	20.4	600,579
14. 県支出金	6,307,766	9.1	7.4	5,870,562	9.0	437,204
15. 財産収入	188,760	0.3	△ 5.4	199,566	0.3	△ 10,806
16. 寄附金	2,259,218	3.2	151.2	899,279	1.4	1,359,939
17. 繰入金	3,999,760	5.7	33.4	2,998,938	4.6	1,000,822
18. 繰越金	1	0.0	0.0	1	0.0	0
19. 諸収入	1,422,349	2.0	4.6	1,359,458	2.1	62,891
20. 市債	3,393,200	4.9	△ 14.9	3,985,400	6.1	△ 592,200
○ 環境性能割交付金	0	0.0	皆減	62,000	0.1	△ 62,000
歳 入 合 計	69,520,000	100.0	6.7	65,180,000	100.0	4,340,000
1. 議会費	317,542	0.5	2.0	311,301	0.5	6,241
2. 総務費	10,465,219	15.0	31.1	7,984,587	12.3	2,480,632
3. 民生費	31,754,611	45.7	4.8	30,287,658	46.5	1,466,953
4. 衛生費	4,623,347	6.7	4.1	4,439,650	6.8	183,697
5. 労働費	95,449	0.1	△ 67.2	291,293	0.4	△ 195,844
6. 農林水産業費	669,338	1.0	18.6	564,198	0.9	105,140
7. 商工費	322,214	0.5	41.7	227,464	0.4	94,750
8. 土木費	6,833,569	9.8	29.6	5,272,882	8.1	1,560,687
9. 消防費	1,747,082	2.5	△ 21.2	2,217,905	3.4	△ 470,823
10. 教育費	7,717,147	11.1	△ 11.2	8,694,757	13.3	△ 977,610
11. 公債費	4,710,482	6.8	1.1	4,658,305	7.1	52,177
12. 諸支出金	234,000	0.3	17.0	200,000	0.3	34,000
13. 予備費	30,000	0.0	0.0	30,000	0.0	0
歳 出 合 計	69,520,000	100.0	6.7	65,180,000	100.0	4,340,000

◎令和8年度 一般会計性質別一覽表

(単位:千円 %)

科 目	令 和 8 年 度 当 初			令 和 7 年 度 当 初		増 減 額
	予 算 額	構 成 比	対 前 年 比	予 算 額	構 成 比	
人件費	10,977,691	15.8	6.2	10,337,626	15.9	640,065
扶助費	20,506,049	29.5	5.0	19,522,398	30.0	983,651
公債費	4,710,482	6.8	1.1	4,658,305	7.1	52,177
物件費	11,796,270	17.0	5.3	11,203,473	17.2	592,797
維持補修費	499,239	0.7	8.8	458,820	0.7	40,419
補助費等	7,703,586	11.1	△ 0.2	7,718,544	11.8	△ 14,958
積立金	2,337,827	3.4	136.7	987,610	1.5	1,350,217
投資及び出資金	163,342	0.2	△ 32.7	242,637	0.4	△ 79,295
貸付金	403,570	0.6	30.3	309,774	0.5	93,796
繰出金	3,644,763	5.2	△ 19.3	4,513,642	6.9	△ 868,879
普通建設事業費	6,747,181	9.7	29.8	5,197,171	8.0	1,550,010
(1)補助事業費	4,215,176	6.0	109.1	2,015,758	3.1	2,199,418
(2)単独事業費	2,487,706	3.6	△ 19.8	3,101,343	4.8	△ 613,637
(3)県営事業負担金	44,299	0.1	△ 44.7	80,070	0.1	△ 35,771
予備費	30,000	0.0	0.0	30,000	0.0	0
歳 出 合 計	69,520,000	100.0	6.7	65,180,000	100.0	4,340,000

歳 入	自主財源	36,879,808	53.0	9.7	33,611,934	51.6	3,267,874
	依存財源	32,640,192	47.0	3.4	31,568,066	48.4	1,072,126
	歳入合計	69,520,000	100.0	6.7	65,180,000	100.0	4,340,000
歳 出	義務的経費	36,194,222	52.1	4.9	34,518,329	53.0	1,675,893
	投資的経費	6,747,181	9.7	29.8	5,197,171	8.0	1,550,010
	その他経費	26,578,597	38.2	4.4	25,464,500	39.0	1,114,097
	歳出合計	69,520,000	100.0	6.7	65,180,000	100.0	4,340,000

令和 8 年度予算編成方針(抜粋)

～第6次草津市総合計画が目指す将来のまちの姿～

➤ 「第6次草津市総合計画」を念頭に置いた予算見積り

「第6次草津市総合計画」に掲げる以下の“まちづくりの基本目標”を念頭に置き、各分野において効果的に目標が達成されるように予算見積りを行い、「地域幸福度(Well-Being)指標」を参考指標とし、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感」につながる取組の現在地を踏まえながら、将来ビジョンの実現に向けた取組を推進する。

第6次草津市総合計画 まちづくりの基本目標		
(1) 「こころ」育むまち	(2) 「笑顔」輝くまち	(3) 「暮らし」支えるまち
(4) 「魅力」あふれるまち	(5) 「未来」への責任	

➤ リーディング・プロジェクトへの戦略的な財源配分

歳出全般の徹底した洗い直しや、制度・施策の抜本的な見直し、優先順位の厳しい選択により、限られた財源を戦略的に配分する。

➤ 「健幸都市」づくりの推進

「第6次草津市総合計画」の基本構想において、市の総合政策として、“誰もが生きがいをもち、健やかで幸せに暮らすことのできるまち”を目指した「健幸都市づくり」の推進に取り組んでいることを踏まえ、草津市健幸都市づくり基本方針(令和5年3月策定)が示す取組の方向性を念頭に、市民等が「健幸づくり」に取り組むことのきっかけづくりや、ハード・ソフト両面で必要な環境づくりを行うなど、健幸都市の実現につながる予算見積りとする。

➤ 「ゼロカーボンシティくさつ」実現に向けての取組

2050年に温室効果ガス(CO2)排出量を実質ゼロにすることを目指したゼロカーボンシティ表明自治体として、2013(平成25)年度比で2030(令和12)年度に50%以上の削減を目標に掲げ、草津市地球温暖化対策実行計画に基づく取組を推進しているところであり、市民や事業者が、日常生活や事業活動において、脱炭素の取組を推進できるよう、従来の環境施策の枠組みを超え、より積極的かつ実効性のある脱炭素の事業実施を見据えた予算見積りとする。

➤ 健全財政の維持

今後も健全で持続可能な財政運営を維持していくため、「財政規律ガイドライン」に示す各種財政指標の数値目標を達成するための取組を反映した予算見積りとする。

➤ 行政経営改革の推進

これまでの改革の取組を後退させることなく、引き続き、限られた経営資源を有効に活用することにより、市民目線に立った最適な行政サービスの提供に取り組み、市全体を俯瞰し、時代の変化を捉え、長期的な視点で財政負担の抑制と職員の負担軽減を意識しながら、事業の廃止を含めた見直しを行うこと。また、自治体情報システムの標準化・共通化、AI・RPA等の先端技術を活用した業務プロセスの再構築および行政手続のオンライン化の拡大等、DX(デジタルトランスフォーメーション)をさらに進めることにより、市民の利便性の向上や行政サービスの効率化を積極的に推進すること。

➤ 現場主義の徹底

地域社会の課題解決を図るために現場の声を十分に聴き、現状を正確に把握した上で、予算を見積もること。

第6次草津市総合計画 第2期基本計画 リーディング・プロジェクト（重点方針）

将来ビジョン

ひと・まち・ときをつなぐ 絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津

未来を担う
こども育成
プロジェクト

地域の
支え合い推進
プロジェクト

にぎわい・再生
プロジェクト

暮らしの
安全・安心向上
プロジェクト

DX推進プロジェクト

◆ リーディング・プロジェクト(重点方針)の位置付けと方向性

第6次草津市総合計画の将来ビジョンである「ひと・まち・ときをつなぐ 絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津」では、人と人、人から地域、まちへと“つながり”が広がることで生まれる“絆”をつむぐことで、草津市が、ときを重ねても、誰からも愛される“ふるさと”となり、また、住む人、訪れる人、誰もが“健幸”になれるまちを市民とともに創造していくことを目指しています。

第1期基本計画では、将来ビジョンの実現に向けて、草津市のまちづくりを先導・けん引する4つのリーディング・プロジェクトを重点方針として位置付け、分野横断的な施策展開を進めました。

将来ビジョンの達成に向けて、これまでの取組をさらに進めていくことが有効と考えることから、第2期基本計画においても、第1期基本計画の4つのリーディング・プロジェクトを継承し、将来ビジョンの実現に向けて、草津市のまちづくりを先導・けん引する重点方針として、分野横断的な施策展開を図ります。また、新たに「DX推進プロジェクト」を5つ目のリーディング・プロジェクトとし、すべての分野を下支えする視点とします。

リーディング・プロジェクトの推進にあたっては、第2期基本計画期間中は、統一テーマとして展開するため、予算編成方針等に一貫した方向性を持たせるものとし、関連する施策・事業については、毎年実施する評価の中で、課題の見直しとさらなる推進に向けた改善を図っていきます。

当初予算概要掲載事業一覧

➤ 『未来を担うこども育成プロジェクト』

【拡大】	児童育成クラブ施設整備費	8
【新規・拡大】	こどもまんなか社会推進費	9
【新規・拡大】	こども・若者すこやか推進費	10
【拡大】	待機児童対策推進費	11
【新規】	乳児等通園支援事業費	12
【新規】	給食費無償化・負担軽減事業費(保育所等)	13
【拡大】	給食費無償化事業費(小中学校)	14
【継続】	小・中学校大規模改修費、児童増加対策事業費	15
【新規・拡大】	教育体制強化費	16
【新規】	学校環境改善事業費	17
【拡大】	市立プール活用事業費(水泳学習移行)	18

➤ 『地域の支え合い推進プロジェクト』

【新規】	地域情報共有サイト運営委託費	19
【拡大】	地域まちづくりセンター整備費	20
【新規】	協同労働推進費	21
【継続】	健幸都市づくり推進費	22
【拡大】	がん患者アピアランスケア支援事業費	24
【拡大】	AI×フレイル予防運動教室開催費・eスポーツ介護予防事業費	25
【継続】	(仮称)新志津運動公園整備費	26
【継続】	公営住宅建替事業費	27
【新規】	近畿総体・ワールドマスターズゲームズ開催費	28

➤ 『にぎわい・再生プロジェクト』

【新規】	スマート農業推進事業費補助金	29
【継続】	道の駅草津リノベーション推進費	30
【継続】	馬場山寺基盤整備費	31
【新規・拡大】	DESTINATIONキャンペーン推進費	32
【新規】	中小企業等人材確保支援補助金	33
【拡大】	中小企業等DX推進補助金	34
【新規】	スタートアップ創出等支援事業費	35
【新規】	企業立地推進費	36
【新規】	まちづくりセンター跡地暫定活用事業費	37

➤ 『にぎわい・再生プロジェクト』 つづき

【継続】	草津PA基本構想推進費	38
【新規】	西消防署跡地生活拠点等形成事業費	39
【継続】	ロクハ公園プール再整備費	40
【継続】	草津川跡地整備費・公園運営費	41
【新規・継続】	史跡草津宿本陣30周年記念事業費・史跡草津宿本陣・史跡芦浦観音寺跡整備費	42
【継続】	(仮称)歴史資料館整備費	43

➤ 『暮らしの安全・安心向上プロジェクト』

【新規・継続】	防災対策費	44
【継続】	草津栗東行政事務組合負担金(火葬場整備)	45
【新規・拡大】	ゼロカーボンシティくさつ推進費	46
【継続】	大江霊仙寺線(南笠工区)整備費	47
【継続】	平野南笠線整備費	48
【継続】	東草津北2号線整備費	49
【継続】	南草津駅エスカレーター改修費	50
【継続】	北山田浄水場耐震補強・浸水対策費	51

➤ 『DX推進プロジェクト』

【新規】	福祉DX推進費	52
【新規】	電子版母子手帳導入費、乳幼児健診質問票DX推進費	53
【新規】	漏水対応等体制強化事業費	54
【拡大】	校務DX推進費	55

➤ 行財政マネジメント等

【継続】	第6次草津市総合計画第2期基本計画推進費	56
【新規】	職員採用対策強化費	57
【新規】	カスタマーハラスメント対策事業費	58
【継続】	事務事業の整理合理化	59

※ 新規・拡大・継続の区分については、以下のとおりです。

【新規】 令和8年度から新たに実施する事業

【拡大】 制度改正等による内容の充実や整備対象箇所の増加等を伴う事業

【継続】 過年度に引き続き令和8年度も実施する事業(拡大に該当する場合を除く。)

未来を担うこども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	児童育成クラブ施設整備費		区分	拡大
令和8年度 事業費	担当部局・所属	こども若者部	こども若者政策課	
	財源内訳			
	国庫支出金	県支出金	市債	その他
3,500	1,166	1,749		585

<事業の概要>

公設児童育成クラブの定員拡大や民設児童育成クラブの開設支援を行うことにより、放課後における児童の居場所を確保します。

【主な内容】

- ・「のびっ子」老上定員拡大 1支援単位分(40人定員)
老上小学校仮設校舎の活用を想定しています。
- ・民設児童育成クラブ施設整備 1か所(40人定員)
開設予定の小学校区については、児童数や申込数の状況を検証した上で決定します。

【スケジュール】

令和8年度 「のびっ子」老上:備品整備(1支援単位分)
民設児童育成クラブ:公募、運営者の決定、施設整備および補助金交付
令和9年4月 「のびっ子」老上定員拡大、民設児童育成クラブ開設予定

【民設児童育成クラブ開設実績】

令和6年度 老上小学校区
令和7年度 老上小学校区、笠縫東小学校区
令和8年度(予定) 老上小学校区

<事業の目的・効果>

子育て世代の就業率の上昇に伴い、児童育成クラブの利用者は増加傾向にあります。放課後における児童の居場所を確保することにより、保護者の就労と子育ての両立を支援し、また、放課後の適切な遊びや生活指導等を通して、児童の心身の健全な育成を図ります。

		経費の内訳	
		民設児童育成クラブ施設整備	
	事業費補助金		2,500
	「のびっ子」老上備品購入費 (債務負担行為)		1,000
	令和9年度～令和11年度 「のびっ子」老上管理委託費		30,600

未来を担うこども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	こどもまんなか社会推進費		区分	新規・拡大
令和8年度 事業費	担当部局・所属	こども若者部 教育委員会	こども若者政策課 児童生徒支援課	
	財源内訳			
	国庫支出金	県支出金	市債	その他
6,535	3,255	1,200		2,080

<事業の概要>

対話や協働によって、様々な世代とのつながりをつくりながら、こどもや若者の主体的な取組を社会全体で応援する機運を広げることで、「こどもまんなか社会」の実現を目指します。

【「こども・若者の声を形に」プロジェクト推進事業】《拡大》

キラエ草津、UDCみなくさ、市民交流プラザと連携し、主に高校生や20代、30代の若者の居場所交流事業を试行します。また、市内高校へのアウトリーチや、若者支援のためのユースワーク講座を行うとともに、中学生と市長との対話や、大学生とのアイデアブレスト等の対話事業を継続し、対話や交流から生まれたアイデアを、協働事業として実施します。

【若者に選ばれるまちプロモーション事業】《新規》

若者クリエイターで創る「草津市発信部活動」を立ち上げ、若者によるプロモーション事業に取り組みます。また、「働く」「つながる」「住む」「楽しむ」といったテーマに基づき、若者に響く施策の見える化を進め、若者に選ばれるまち草津のPRを行います。

【こどもまんなか実現支援事業】《新規》

学校内での協働的・自治的な活動である特別活動等によってこどもの自己有用感、責任感、人間関係形成力等の生きる力を育むため、こどもたちが自分たちの意見を表明する機会を確保するとともに、こども同士の対話等のプロセスを経て計画する、充実した特別活動等の費用の一部を支援します。

<事業の目的・効果>

こどもや若者が、学校やサードプレイス(※)で同世代と交流し、意見を自由に述べる機会を整え、行政やまちづくりに取り組む様々な人たちとの対話を通じて、挑戦や協働に取り組むことを目指します。こどもや若者自身が考えたプロジェクトを主体となって実行するとともに、社会全体で応援する機運を広げることで、「こどもまんなか社会」の実現を目指します。

※「サードプレイス」は、家(ファーストプレイス)と職場や学校(セカンドプレイス)に次ぐ、人々がリラックスし、交流し合うことができる第三の居場所

中学生や大学生が主体的に取り組んだ 2つの協働事業(令和7年度)	経費の内訳
 <p>Let's まなびバ! クサツハッケンジャー</p>	「こども・若者の声を形に」 プロジェクト推進費 4,800
	若者に選ばれるまち プロモーション事業費 1,710
	こどもまんなか実現支援費 25

未来を担うこども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	こども・若者すこやか推進費		区分	新規・拡大	
令和8年度 事業費	担当部局・所属	こども若者部	こども家庭若者課 子育て相談センター 健康増進課		
		健康福祉部			
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
66,091	8,706	3,485	使	990	52,910

<事業の概要>

安心してこどもを産み育てられる支援や、こども・若者や親子がいそいそと過ごせる場づくりの充実に向け、新生児および乳児の健康を保持・増進するための予防接種の推進、家事・育児支援やひとり親等のこどもの居場所の対象年齢の拡大、子育て支援センターを充実させるための移転を支援します。

【主な内容】

・RSウイルス感染症予防接種費<新規>

令和8年4月からRSウイルス母子免疫ワクチンが定期接種として位置付けられることから、妊婦が地域の医療機関で接種を受けられる体制を整え、新生児や乳児の健やかな成長を支えます。

・草津っ子サポート事業費<拡大>

家事・育児を支援するホームヘルパー派遣の対象年齢を1歳未満から3歳未満に拡大、利用可能時間を6時間から18時間に拡大し、子育てに伴う不安や負担の軽減を図ります。

・こどもの居場所づくり事業費<拡大>

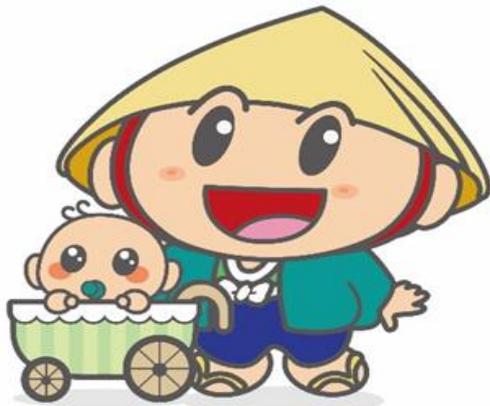
支援対象を中学生に加え小学校5・6年生に拡げ、ひとり親家庭のこどもや学校に行きにくいこども等に対し、学習支援や食事の提供、活動等を行うことでこどもの学びや成長を支援します。

・地域子育て支援センター移転整備費補助金<新規>

中学校区ごとに設置する子育て支援施設の移転を支援し、親子交流の場の充実を図ります。

<事業の目的・効果>

こどもの心身の健康増進を図り、子育て世帯への支援を行うことで、「心豊かでたくましく生き、未来をつくる草津のこども”草津っ子”」の健やかな成長を推進します。



経費の内訳

【RSウイルス感染症予防接種費】

ワクチン接種費	38,681
会計年度任用職員費	2,958
その他事務費	591

【草津っ子サポート事業】

ヘルパー派遣委託費	5,445
その他事務費	709

【こどもの居場所づくり事業】

運営委託費	4,648
-------	-------

(債務負担行為)

令和9年度～令和11年度

運営委託費	14,156
-------	--------

【地域子育て支援センター移転整備費補助金】

移転整備費補助金	13,059
----------	--------

未来を担うこども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	待機児童対策推進費			区分	拡大
令和8年度 事業費	担当部局・所属	こども若者部		幼児課・幼児施設課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
405,318	297,105	7,683	65,100	緑 26,000	9,430

<事業の概要>

子育て世帯の就業率の上昇に伴い、低年齢児や3歳児を中心とした保育需要の増加が見込まれることから、「草津市こども・若者計画」に基づき、施設整備の支援や保育士の確保を通じて、待機児童の解消に取り組みます。

【主な内容】

- ・民間保育所等施設整備費補助金(2施設、利用定員53人増)
令和9年4月に開設予定の民間の幼保連携型認定こども園の分園の整備を支援します。
- ・小規模保育施設整備費補助金(2施設公募、利用定員38人増)
令和9年4月に開設予定の民間事業者が実施する小規模保育施設の整備を支援します。
※整備施設数等については、児童数や申込数の状況を検証した上で決定します。
- ・保育士等確保対策事業費
学生や潜在保育士へ本市の保育現場の魅力や支援制度の情報を積極的に発信し、保育人材の確保を図ります。
ダイレクトメールの発送やSNSを配信(年2回予定)
動画やWebサイトの整備
折り込みチラシ配布(年2回予定)

<事業の目的・効果>

子育て世帯の働き方が多様化する中、仕事と子育ての両立を支援するため、保育ニーズを満たす施設整備や保育士等の人材確保に取り組むことで、安心して保育を受けられる環境の充実および待機児童の解消を図ります。

	経費の内訳	
	民間保育所等施設整備費補助金	342,364
	小規模保育施設整備費補助金	47,586
	保育士等確保対策事業費	15,368

未来を担うこども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	乳児等通園支援事業費			区分	新規
令和8年度 事業費	担当部局・所属	こども若者部		幼児課・子育て相談センター 発達支援センター・幼児施設課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
16,944	12,573	2,068	使 諸	1,344 34	925

<事業の概要>

全てのこどもの育ちを応援し、子育て家庭に対する支援を強化するため、0歳6か月から2歳までのこどもの通園支援(こども誰でも通園制度)を実施します。

【実施予定施設】

実施予定施設	受入予定年齢	受入予定時間	受入予定人数
矢橋ふたばこども園	0歳6か月～2歳 (3歳になる前々日まで)	9:00-12:00 13:30-16:30	各時間6人まで
子育て支援センター ぽかぽかタウン	0歳6か月～1歳 (2歳になる前々日まで)	9:00-12:00 13:30-16:30	各時間4人まで
発達支援センター 湖の子園	0歳6か月～2歳 (3歳になる前々日まで)	14:30-16:30	

※その他、定員の空き枠を有効活用した余裕活用型乳児等通園支援事業を実施予定。

※施設ごとに受入可能な曜日が異なります。

【利用可能時間】

こども1人当たり 月3時間

【スケジュール】

令和8年4月 事業実施

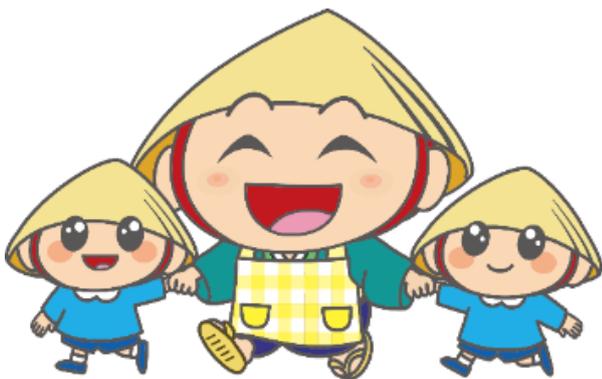
<事業の目的・効果>

保護者の就労要件を問わず、誰でも利用できる通園支援に取り組むことにより、乳幼児に対して、多様な人と関わる機会等を提供するとともに、保護者の孤立感・不安感の解消や育児負担の軽減を図り、各家庭の状況等に応じて、切れ目のない子育て支援の拡充に努めます。

経費の内訳

【乳児等通園支援事業費】

公立認定こども園	7,359
子育て支援センター ぽかぽかタウン	7,718
発達支援センター 湖の子園	1,333
民間保育所等	358
他自治体広域利用事業	176



未来を担うこども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	給食費無償化・負担軽減事業費(保育所等)			区分	新規
令和8年度 事業費	担当部局・所属	こども若者部		幼児課・幼児施設課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
97,026				繰 97,026	

<事業の概要>

市内保育所等では、適切な栄養の摂取によるこどもの健やかな成長と健康の保持・増進を目的として、給食を提供しています。

昨今の物価高騰の影響で、家庭での給食費負担が増加している状況を受け、本市の独自施策として、市内在住の3～5歳児の保育所等給食費について、新たに9月分から月6,700円を上限として、公立は無償化を実施し、民間保育所等は保護者の負担軽減を実施します。

・給食費無償化事業(公立)、給食費負担軽減事業(私立)

(対象者) 3～5歳児 約3,500人

(対象施設) 公立保育所・認定こども園

民間保育所等(保育所、認定こども園、幼稚園(私学助成施設除く))

※市外保育所等利用の場合も負担軽減の対象

【スケジュール】

令和8年4月～8月 要綱制定、準備

令和8年9月 事業実施

<事業の目的・効果>

給食費の無償化・負担軽減を実施することで、子育て世帯の経済的負担を軽減し、支援の充実を図ります。



経費の内訳

保育所等給食費負担軽減事業補助金 (民間保育所等)	97,026
(参考) 公立保育所・認定こども園の給食費無償化における 収入の減(△27,375千円)を含む影響額	124,401

未来を担うこども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	給食費無償化事業費(小中学校)			区分	拡大
令和8年度 事業費	担当部局・所属	教育委員会		学校給食センター 第二学校給食センター	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
739,450		470,299		繰 上 諸 266,463 2,688	

<事業の概要>

食材料費が高騰している状況下においても、成長に必要な質・量が確保された給食の提供を維持するため、給食費を改定します。

なお、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、令和6年度から実施している中学校給食の無償化を継続するとともに、令和8年4月から、小学校給食についても無償化を実施します。

また、アレルギーや不登校等で給食を長期間喫食できない児童生徒の保護者に対し、中学校と同様に小学校においても、給食費相当額の給付を行います。

【対象人数】

- ・公立小学校 児童数:約8,300人
- ・公立中学校 生徒数:約4,000人

【給食費月額(令和8年度)】

- ・公立小学校 5,200円 (令和7年度 4,500円)
- ・公立中学校 6,100円 (令和7年度 5,300円)

<事業の目的・効果>

食材料費の高騰の中にあっても、安全・安心かつ質や量の確保された給食の安定した提供を行うとともに、給食費を無償化することで、子育て世帯への支援の充実に図ります。



経費の内訳

学校給食無償化事業費	
公立小学校	469,841
公立中学校	261,430
学校給食支援給付費	
公立小学校	3,146
公立中学校	5,033

未来を担うこども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	小・中学校大規模改修費、児童増加対策事業費			区分	継続
令和8年度 事業費	担当部局・所属 教育委員会			教育総務課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
697,872	93,875		393,800	緑 111,000	99,197

<事業の概要>

建築後、相当年数が経過した校舎等の学校施設の改修を計画的に実施するとともに、非構造部材(天井、窓ガラス、内外装材等)の耐震対策を行います。

また、児童数の増加で教室数の不足が見込まれる学校において、仮設校舎等を整備します。

【長寿命化改良事業】 412,174千円 <草津小:債務負担行為(令和9年度)14,400千円、笠縫小:債務負担行為(令和9年度~令和11年度)331,400千円>

- ・南笠東小学校予防改修工事、工事監理業務、仮設校舎リース
- ・笠縫小学校仮設校舎整備、EV棟増築工事実施設計業務
- ・草津小学校長寿命化改修工事基本・実施設計業務
- ・山田小学校耐力度調査

【トイレ改修工事】 156,032千円

- ・矢倉小学校トイレ改修工事、南笠東小学校体育館トイレ改修工事 等

【グラウンド改修工事】 82,643千円

- ・志津南小学校グラウンド改修工事 等

【非構造部材改修工事】 29,890千円

- ・矢倉小学校非構造部材改修2期工事 約5,233㎡ 等

【児童増加対策】 17,133千円 <草津小:債務負担行為(令和9年度~令和11年度)48,200千円>

- ・老上小学校仮設校舎リース、草津小学校仮設更衣室等整備・リース

<事業の目的・効果>

学校施設の改修・更新・予防保全を進めることで教育環境の改善を図るとともに、非構造部材の耐震化を行うことにより、学校施設の安全性を確保します。

また、教室の不足が見込まれる小学校において、仮設校舎等を整備し、必要な教室等を確保することで、教育環境の整備を図ります。

<参考> 令和7年度 草津小学校トイレ改修工事



改修後



改修後

<参考> 令和5年度 志津小学校仮設校舎整備



外観



内観

経費の内訳

南笠東小学校	
予防改修・体育館トイレ改修費等	431,673
矢倉小学校	
トイレ改修・非構造部材改修費	137,830
志津南小学校	
グラウンド改修費	72,776
老上小学校・草津小学校	
仮設校舎・仮設更衣室等リース料	17,133
その他調査費、実施設計費等	38,460
(債務負担行為)	
令和9年度	
長寿命化改修設計費【草津小】	14,400
令和9年度~令和11年度	
仮設校舎等整備費【草津小・笠縫小】	379,600

未来を担うこども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	教育体制強化費			区分	新規・拡大
令和8年度 事業費	担当部局・所属	教育委員会		学校教育課・児童生徒支援課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
97,078		39,763			57,315

<事業の概要>

多様化・複雑化する学校問題への対応の充実、児童生徒の教育環境の充実、教職員の業務負担の軽減を図るために、以下の取組を拡大することにより教育体制の強化を図ります。

【学校問題解決支援チームの設置】《拡大》

いじめ等の学校問題対応やカスハラ防止対策が学校現場で円滑に進められるよう、特定任期付職員で編成する学校問題解決支援チーム(学校問題解決支援コーディネーター・スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラー)を設置します。

【スクールカウンセラーの市費配置】《新規》

学校問題等を原因として不安を抱える児童生徒等の心のケアや問題解決に向けたサポートができるよう、本市独自の取組としてスクールカウンセラー2人(会計年度任用職員)を配置します。

【部活動指導員等の配置】《拡大》

中学校における部活動指導の充実と教職員の負担軽減を図るため、地域人材等による部活動指導員を増員配置するとともに部活動支援員を継続配置します。

【スクール・サポート・スタッフの配置】《拡大》

教職員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できるよう、教職員の業務支援を行うスクール・サポート・スタッフを継続配置します。また、令和8年度に限り、午前5時間制草津プランの実施に伴う学校における一時預かりの対応を行うためのスタッフを配置します。

<事業の目的・効果>

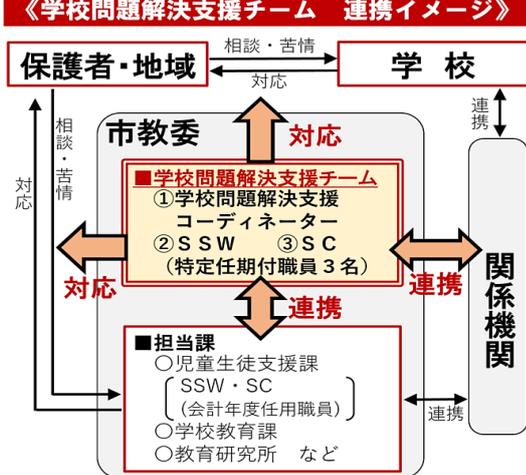
学校問題解決支援チームの専門的視点や関係機関との連携のもとで、学校だけでは解決困難な事案への対応やカスハラ防止対策の推進に向けて取り組み、学校問題の早期解決と学校負担の軽減を図ります。

スクールカウンセラーの配置により、学校問題等に関する相談支援体制の充実を図ります。

部活動指導員等の配置により、部活動が地域と連携した持続可能な取組となることを目指します。

スクール・サポート・スタッフの配置により、教職員の負担軽減を図り、児童生徒へきめ細やかな指導・支援を行います。

《学校問題解決支援チーム 連携イメージ》



※SSW…スクールソーシャルワーカー
SC …スクールカウンセラー

経費の内訳

学校問題解決支援チーム設置費	25,591
スクールカウンセラー配置費	8,058
部活動指導員配置費	10,996
部活動支援員配置費	360
スクール・サポート・スタッフ 配置事業費	52,073

未来を担うこども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	学校環境改善事業費			区分	新規
令和8年度 事業費	担当部局・所属 教育委員会			教育総務課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
22,115					22,115

<事業の概要>

近年の記録的な猛暑から児童生徒の健康と安全を守るため、熱中症対策として全ての公立小中学校に冷水機を設置します。

また、学校の衛生環境の改善および教職員の負担軽減を図るため、小中学校におけるトイレ清掃について、年1回の外部委託を行います。

【主な内容】

- ・冷水機設置事業 各校2台～6台(学校規模による)
- ・学校トイレ清掃業務委託事業 各校年1回

【スケジュール】

- ・冷水機設置事業
令和8年6月 冷水機設置
- ・学校トイレ清掃業務委託事業
令和8年6月 個別清掃実施(各小中学校において、特に臭気の強い箇所のみ実施)
令和8年8月 重点清掃実施(上記個別清掃箇所を除く全小中学校のトイレについて、夏休み期間に実施)

<事業の目的・効果>

学校設備の充実や業務の外部委託を進めることで、教育環境の改善を図り、こどもたちが安心して学校生活を送るための環境整備および教員の働き方改革を推進します。



設置イメージ(冷水機)



経費の内訳

冷水機設置費	16,188
学校トイレ清掃業務委託費	5,927

未来を担うこども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	市立プール活用事業費(水泳学習移行)			区分	拡大
令和8年度 事業費	担当部局・所属		教育委員会	学校教育課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
14,727					14,727

<事業の概要>

老朽化が進んだ学校プールについて、プールの建替を行わず、令和6年度に完成したインフロニア草津アクアティクスセンターを活用し、天候に左右されない計画的な水泳学習を行います。
令和8年度は、老上小学校に加え、プールの老朽化が進む常盤小学校においても実施します。

【主な内容】

- ・インフロニア草津アクアティクスセンターを活用した水泳学習を、令和8年度は老上小学校と常盤小学校で実施します。
- ・天候に左右されない計画的な水泳学習を実施します。
- ・児童の泳力向上を図るため、インストラクターの専門的な指導を行います。
- ・学校とインフロニア草津アクアティクスセンターの移動手段としてバスを利用します。

<事業の目的・効果>

インストラクターの専門的な指導により児童の泳力向上を図るとともに、複数の教員が監視をすることで、より安全な水泳学習を実施することができます。また、屋内での実施となるため、天候に左右されない計画的な水泳学習が可能となり、児童の熱中症対策にもなります。さらに、水泳学習期間中、水質や施設の日々の管理が不要となることで、教員の業務負担軽減にもつながります。



令和7年度 老上小学校の学習の様子

経費の内訳

水泳学習業務委託費	7,368
バス業務委託費	7,359

地域の支え合い推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	地域情報共有サイト運営委託費			区分	新規
令和8年度 事業費	担当部局・所属	総合政策部		広報課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,019					1,019

<事業の概要>

市内では、各機関・団体において様々なイベント等が開催されますが、主な広報手段は各機関等のウェブサイトやSNSであり、それぞれにアクセスしないと情報を得られない状況であるため、市や各機関・団体の様々な情報を集約し、情報にアクセスしやすい環境を整備します。

【主な内容】

市民や団体、行政をつなぐ役割を持ち、協働のまちづくりを推進する中間支援組織である公益財団法人草津市コミュニティ事業団に、地域情報共有サイトの運営を委託します。

【地域情報共有サイトで想定する主な機能】

イベントの内容が分かりやすい掲示板機能、カレンダー機能、イベントのカテゴリーや地図からの検索機能など

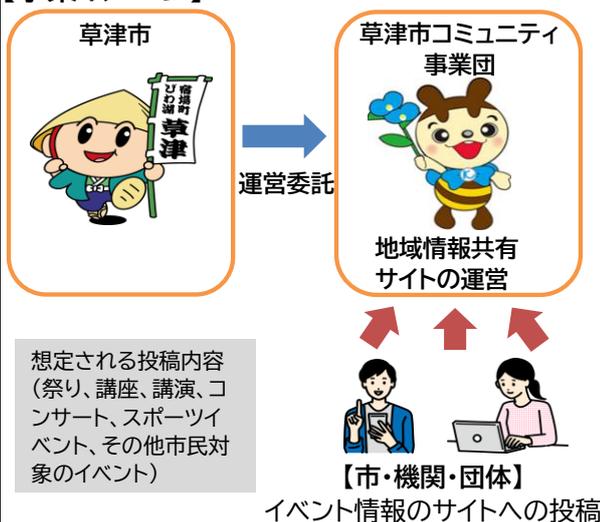
【スケジュール】

- 令和8年4月～6月 コミュニティ事業団との契約締結
(事業団においてサイト運営事業者を選定)
- 7月～ サイトの広報
(事業団において投稿団体の募集・審査・権限付与、操作研修など)
- 9月～ サイトの一般公開、イベント情報の提供開始予定

<事業の目的・効果>

1つのウェブサイトにイベント等の情報を集約して可視化することで、各機関・団体間の交流や連携の機会を生み出すとともに、市民等がまちづくり情報を容易に取得し、イベントに参加することにより、更なるまちのにぎわい創出につなげます。

【事業イメージ】



経費の内訳

地域情報共有サイト運営委託費	1,019
----------------	-------

地域の支え合い推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	地域まちづくりセンター整備費			区分	拡大
令和8年度 事業費	担当部局・所属	まちづくり協働部		まちづくり協働課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
634,642	290,543		288,600	緑 46,000	9,499

<事業の概要>

矢倉まちづくりセンターについては、令和7年度から着手している改築工事等を行い、令和9年3月に新センターの供用を開始する予定です。

山田まちづくりセンターについては、令和7年度から着手している改築工事や現施設の解体工事等を行い、令和8年9月に新センターの供用を開始する予定です。

玉川および老上まちづくりセンターの改築については、地域の意向を確認しながら、まちづくり活動の拠点整備に向けて取組を進めます。

【施設概要】

延床面積:約630㎡程度(事務室、調理室、大会議室等)

【事業年度計画】	令和8年度	令和9年度	令和10年度
矢倉まちづくりセンター	改築・外構工事	解体工事	-
山田まちづくりセンター	改築・外構工事 解体工事	-	-
玉川まちづくりセンター	不動産鑑定等	基本・実施・解体設計業務	基本・実施・解体設計業務
老上まちづくりセンター	整備基本計画策定業務	基本・実施・解体設計業務	基本・実施・解体設計業務

<事業の目的・効果>

地域のまちづくり活動の拠点である地域まちづくりセンターについて、それぞれの地域の特性やニーズを踏まえた整備を行うことにより、地域活動のための施設環境の向上を図り、まちづくり協議会を中心とした地域主体のまちづくりを促進します。

矢倉まちづくりセンター(完成イメージ)



山田まちづくりセンター(完成イメージ)



経費の内訳

【矢倉まちづくりセンター】	
改築工事費、工事監理費等	312,123
【山田まちづくりセンター】	
改築工事費、工事監理費等	313,523
【玉川まちづくりセンター】	
不動産鑑定手数料	2,576
用地測量委託料	3,155
【老上まちづくりセンター】	
整備基本計画策定費	3,206
【各センター共通】	
その他事務費	59

地域の支え合い推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	協同労働推進費			区分	新規
令和8年度 事業費	担当部局・所属	まちづくり協働部		まちづくり協働課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
5,538					5,538

<事業の概要>

担い手不足などの地域課題の解決や地域の活性化に向け、地域住民や多様な主体が参画する手法の一つである「協同労働※」について、地域での学習会開催等により、普及・啓発、相談支援に取り組みます。

【主な内容】

協同労働の普及・啓発

- ・学習会の開催、まちづくり協議会や町内会への戸別訪問等による普及・啓発、広報物やホームページ等での情報発信

協同労働団体立ち上げ支援

- ・団体が抱える課題等への解決に向けた個別相談支援
- ・立ち上げ後の支援についてや、分野ごとの各種支援制度についての情報提供および申請支援

協同労働団体への活動支援

- ・研修・講座、交流会等の開催

地域団体等との連携

- ・各地域まちづくり協議会等との連携促進

※協同労働……同じ思いを持つ人が集まり、全員が出資し、全員で意見を出し合っ、助け合いながら、地域の課題を解決していこうとする仕組み。

<事業の目的・効果>

地域や人とつながり、自分たちのまちのことを自分たちで考え、自分らしく働く、「協同労働」という働き方の普及啓発等に取り組むことで、一人ひとりの生きがいづくりに寄与するほか、地域における担い手不足の解消、地域ごとの課題解決など、持続可能な地域社会の実現を目指します。

		経費の内訳	
 <p>「協同労働」の働き方を通して、多種多様な「やりたい仕事」が地域や人とつながる 持続可能な地域社会の一助に</p>		協同労働推進事業委託費	1,684
		啓発物製作費	393
		会計年度任用職員費	2,962
		その他事務費	499

地域の支え合い推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	健幸都市づくり推進費			区分	継続
令和8年度 事業費	担当部局・所属 健康福祉部			健康福祉政策課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
5,748			諸	180	5,568

<事業の概要>

誰もが生きがいをもち、健やかで幸せに暮らすことのできるまち「健幸都市くさつ」の実現に向け、市民が健幸づくりに取り組むためのきっかけづくりや、環境づくりに取り組みます。

令和8年度は、新たに南草津駅前のフェリエ南草津内に、健康管理アプリを使って測定データを記録できる血圧計、体組成計を配備し、同様の機器を設置している市役所およびインフォニア草津アクアティクスセンターと連携してデジタル技術を活用した健幸ステーションの利用促進に取り組みます。

また、本市が目指す「健幸」や、本市が取り組む「健幸都市づくり」に対する認知度を向上させるため、健幸づくりに関連した体験型イベントとして、企業や大学と連携しながら健幸フェアやびわこ・くさつ健幸フェスタを実施するほか、映画館でのシネアド(プロモーションCM)や各種SNSなど、様々な媒体・方法を活用し、啓発・情報発信の強化に取り組みます。

【主な内容】

- ・健幸ステーションの整備(アプリと連動可能な血圧計、体組成計)
- ・体験型イベントの企画実施(健幸フェア、びわこ・くさつ健幸フェスタ)
- ・「健幸都市くさつ」の情報発信(シネアドの放映、SNSを活用した啓発等)

<事業の目的・効果>

健幸都市づくりを推進し、市民の健康寿命の延伸を目指すとともに、「健幸に暮らせている」と感じている方を増やすことで、魅力あるまちの実現を目指します。

◎健幸とは…生きがいをもち、健やかで幸せであること



健幸ステーションの整備



健幸フェア(令和7年度)



びわこ・くさつ健幸フェスタでのウォークラリー(令和7年度)

経費の内訳

健幸ステーション整備費	1,514
健幸フェア開催費	1,480
びわこ・くさつ健幸フェスタ事業費	429
「健幸都市くさつ」広報・啓発費	2,325

令和8年度 主要な健幸都市づくり事業 一覧

本概要に掲載している事業の中から
草津市健幸都市づくり基本方針における
キャッチフレーズごとに主な取組を抜粋

<全世代共通の健幸づくり>

(単位:千円)

事業名	ページ	担当部局・所属		令和8年度 事業費	財源内訳			
					国県支出金	市債	その他	一般財源
(仮称)新志津運動公園整備費	P26	建設部	公園緑地課	47,847	国 7,905	14,200	1,000	24,742
近畿総体・ワールドマスターズゲームズ 開催費	P28	教育委員会	スポーツ推進課	26,143			25,000	1,143
道の駅草津リノベーション推進費	P30	環境経済部	農林水産課	23,857	国 11,928	10,700	1,000	229
ロクハ公園プール再整備費	P40	建設部	公園緑地課	10,379	国 2,172			8,207
草津川跡地整備費・公園運営費	P41	建設部	草津川跡地整備課	1,216,282	国 410,800 県 16,285	401,800	166,758	220,639

<世代ごとの健幸づくり>

(単位:千円)

事業名	ページ	担当部局・所属		令和8年度 事業費	財源内訳			
					国県支出金	市債	その他	一般財源
こども・若者すこやか推進費	P10	こども若者部 健康福祉部	こども家庭若者課 子育て相談センター 健康増進課	66,091	国 8,706 県 3,485		990	52,910
乳児等通園支援事業費	P12	こども若者部	幼児課 子育て相談センター 発達支援センター 幼児施設課	16,944	国 12,573 県 2,068		1,378	925
給食費無償化・負担軽減事業費 (保育所等)	P13	こども若者部	幼児課 幼児施設課	97,026			97,026	
給食費無償化事業費(小中学校)	P14	教育委員会	学校給食センター 第二学校給食センター	739,450	県 470,299		269,151	
AI×フレイル予防運動教室開催費 ・eスポーツ介護予防事業費	P25	健康福祉部	長寿いきがい課	7,483	国 755 県 314		6,414	

<支え合いのまちづくり>

(単位:千円)

事業名	ページ	担当部局・所属		令和8年度 事業費	財源内訳			
					国県支出金	市債	その他	一般財源
協同労働推進費	P21	まちづくり協働部	まちづくり協働課	5,538				5,538
がん患者アピアランスケア支援事業費	P24	健康福祉部	健康増進課	2,617	県 540			2,077

<行動変容につながるまちづくり>

(単位:千円)

事業名	ページ	担当部局・所属		令和8年度 事業費	財源内訳			
					国県支出金	市債	その他	一般財源
健幸都市づくり推進費	P22	健康福祉部	健康福祉政策課	5,748			180	5,568
DESTINATIONキャンペーン推進費	P32	環境経済部	商工観光労政課	15,810	国 7,905			7,905
草津PA基本構想推進費	P38	都市計画部	都市地域戦略課	11,059				11,059
ゼロカーボンシティさつ推進費	P46	環境経済部 他	温暖化対策室 他	103,356	国 13,777	12,400	52,322	24,857

合計	2,395,630	969,512	439,100	621,219	365,799
----	-----------	---------	---------	---------	---------

地域の支え合い推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	がん患者アピアランスケア支援事業費			区分	拡大
令和8年度 事業費	担当部局・所属	健康福祉部		健康増進課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,617		540			2,077

<事業の概要>

がん治療の副作用に伴う外見の変化に対し、その心理的および経済的な負担を軽減し、社会参加を促進するため、がん患者が購入する補整具の購入費用の一部を助成していますが、購入にかかる費用は高額であり、また補整具を必要とされる期間には個人差があることから、助成額および助成回数を拡大します。
また、がん治療に伴う外見変化は頭髪や乳房だけではないことから、助成対象に新たにエピテーゼ(失われた体の一部を再現する人工装具)を加えます。

【対象者】

- 以下の①～③の条件を満たす人
- ①申請日までに引き続き草津市に1年以上住民票を有している人
- ②がんの治療を行っている人
- ③がんの治療により脱毛し、または外見の変化により補正具を必要とする人

【助成対象】

- ①医療用等ウィッグ本体(皮膚保護ネットを含む)、帽子
- ②乳房補整具(補整下着、補整パッドなど)
エピテーゼ<<拡大>>

【助成額】

- ・購入費用の2分の1(上限10,000円→上限30,000円<<拡大>>)

【助成回数】

- ・助成対象者1人につき、上記助成対象①②それぞれ、1回限り→2回まで<<拡大>>

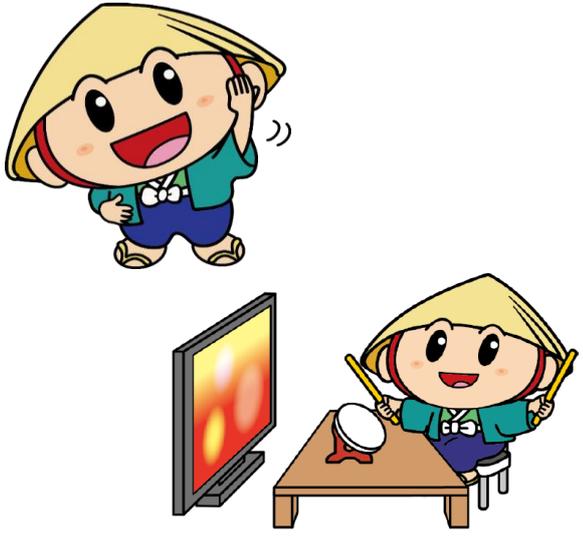
<事業の目的・効果>

がん治療に伴う外見の変化に悩む人が、尊厳を保ちながら自分らしく安心して暮らし続けられる社会を構築し、健幸都市づくりを推進します。

	経費の内訳	
	助成費	2,565
	その他事務費	52

地域の支え合い推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	AI×フレイル予防運動教室開催費・eスポーツ介護予防事業費				区分	拡大
令和8年度 事業費	担当部局・所属 健康福祉部			長寿いきがい課		
	財源内訳					
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
7,483	755	314	緑 諸 保 介	314 4,971 451 678		
<p><事業の概要> 高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を続けることができるよう、AIを活用したフレイル予防運動教室やeスポーツに関する取組を推進します。</p> <p><主な内容> 【AI×フレイル予防運動教室開催費】 健幸フレイル予防講座(座学の連続講座)の事業を拡大し、運動教室の開催とAIを活用して作成した運動プログラムの提供を行うことで運動の習慣化を図り、フレイルの改善につなげます。 ・運動教室モデル地域出張体験会(AIを活用した運動プログラムの体験・提供) フレイル予防運動教室を開催する前に計10回の体験会の開催 ・フレイル予防運動教室(AIを活用した運動プログラムの提供+運動教室+座学) フレイルである高齢者を対象とし、1クール(全13回)×2クールを市公共施設等で実施</p> <p>【eスポーツ介護予防事業費】 令和7年度に引き続き、eスポーツ体験教室(全6回)や地域出前講座(全30回)を継続して実施するとともに、令和8年度からは新たに「シニアeスポーツ大会」を開催し、高齢者がeスポーツを通じて介護予防に取り組むきっかけになるようeスポーツ事業の拡大を図ります。 ・シニアeスポーツ大会では、高齢者を中心とした団体戦・個人戦の他に、多世代交流を取り入れたペア戦の実施</p> <p><事業の目的・効果> 集団での運動教室およびAIを活用したオーダーメイドの運動プログラムを提供することにより、運動の習慣化を図るとともに、講座の受講によってフレイル予防についての理解を深め、高齢者自身が主体的にフレイル予防を実践することでフレイルの改善につなげます。 また、eスポーツを通じて社会参加等を促すとともに、高齢者が介護予防の必要性を理解し、介護予防に取り組むきっかけづくりとなるよう介護予防の普及啓発を図ります。</p>						
				経費の内訳		
				<p>【一般会計】 AI×フレイル予防運動教室開催費 4,971</p> <p>【介護保険事業特別会計】 eスポーツ介護予防事業費 2,512</p>		

地域の支え合い推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	(仮称)新志津運動公園整備費			区分	継続
令和8年度 事業費	担当部局・所属 建設部			公園緑地課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
47,847	7,905		14,200	緑 1,000	24,742

<事業の概要>
 新クリーンセンターの建替に伴い、平成27年11月に廃止となった志津運動公園の代替機能を担う公園として、(仮称)新志津運動公園の整備を行います。
 令和8年度については、令和7年度に引き続き、自然環境影響調査を進めるとともに、用地取得に向けた測量等の業務を行います。

【主な内容およびスケジュール】
 令和8年度 自然環境影響調査業務、用地測量等業務
 令和9年度 基本設計
 令和10年度 実施設計、用地取得、登記
 令和11～12年度 工事
 令和13年度 供用開始

<事業の目的・効果>
 新クリーンセンターの建替に伴い、廃止した志津運動公園の代替機能を担う公園を整備することで、本市のスポーツ環境の充実を図ります。



経費の内訳	
自然環境影響調査業務委託費	24,131
用地測量等業務委託費	23,716

地域の支え合い推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	公営住宅建替事業費			区分	継続
令和8年度 事業費	担当部局・所属 建設部			市営住宅課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
56,595	15,182		使	2,441	38,972

<事業の概要>

令和3年3月に策定した「草津市公営住宅建替基本計画」に基づき、建替の優先順位が最も高い団地から建替事業の準備手続を進めています。

木川団地、西一・下中ノ町団地については、令和6年度のPFI導入可能性調査において、PFI※方式が従来方式と比較して7.74%のVFM※が見込まれる結果が出たため、令和7年度は、実施方針および要求水準書(案)の公表を行いました。令和9年度から令和12年度までの事業実施に向けて、令和8年度は、PFI事業者の選定や入居者への移転支援業務等を行います。

また、矢倉団地・玄甫団地・玄甫北団地については、建替事業を進めるために土地の鑑定業務を行います。

【主な内容】

木川団地、西一・下中ノ町団地

・PFIアドバイザー業務 ・入居者移転支援業務 ・PFI事業者等選定委員会

矢倉団地・玄甫団地・玄甫北団地

・不動産鑑定業務

※PFI……PFI法に基づき、公共施設の設計、建築等を民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して行う手法

※VFM……支払いに対して最も価値の高いサービスが得られる事業手法を選択するという考え方従来方式と比べてPFIの方が総事業費をどれだけ削減できるかを示す割合

<事業の目的・効果>

老朽化が進んだ団地の建替を進め、高齢者や子育て世帯等に優しい公営住宅の整備を行うことで、誰もが安心して暮らせる住環境の整備を進めます。



木川団地建替イメージ(共同住宅タイプ)

※上記パース図は、あくまでイメージであり実際に建設する公営住宅とは異なります。

経費の内訳

【木川団地、西一・下中ノ町団地】

PFIアドバイザー業務委託費 27,500

入居者移転支援費 27,659

PFI事業者等選定委員会開催費 183

【矢倉団地、玄甫団地・玄甫北団地】

不動産鑑定業務委託費 1,253

(債務負担行為)

令和9年度～令和12年度

PFIサービス購入料 4,339,200

PFIモニタリング業務委託費 10,500

地域の支え合い推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	近畿総体・ワールドマスターズゲームズ開催費			区分	新規
令和8年度 事業費	担当部局・所属 教育委員会			スポーツ推進課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
26,143				繰 25,000	1,143

<事業の概要>

令和8年度開催の近畿総体2026および令和9年度開催のワールドマスターズゲームズ2027関西に向けて、滋賀県や競技団体等と連携し、大会運営や広報啓発活動に取り組みます。

【近畿総体2026】

通称「インターハイ」とも呼ばれる高校生最大のスポーツの祭典で、令和8年度は滋賀県実行委員会において大会の準備・運営に取り組みます。

本市開催競技	日程	会場
水泳(競泳)	令和8年 8月13日～8月16日	インフロニア草津アクアティクスセンター
水泳(飛込)	令和8年 8月17日～8月20日	
水泳(水球)	令和8年 8月18日～8月21日	
バレーボール(女子)	令和8年 8月 4日～8月 7日	YMITアリーナ(※)

※令和8年4月1日以降の愛称:草津市立滋賀トヨタアリーナ

【ワールドマスターズゲームズ2027関西】

国際マスターズゲームズ協会が4年ごとに主宰する、おおむね30歳以上のスポーツ愛好者であれば誰もが参加できる生涯スポーツの国際総合競技大会で、令和9年度の開催(日本では初開催)に向け、令和8年度は草津市実行委員会において広報啓発活動に取り組みます。

本市開催競技	日程	会場
ソフトボール	令和9年 5月22日～5月29日	草津グリーンスタジアム、 矢橋帰帆島公園多目的グラウンド

<事業の目的・効果>

滋賀県や競技団体等の関係機関と連携を深め、より良い大会の実現に向けた取組を進めるとともに、スポーツ観戦機会の充実による市民の運動・スポーツに対する興味関心の向上や競技力の向上、スポーツボランティア等の「ささえる」スポーツへの参加促進、交流人口の拡大によるまちの活性化を図ります。



経費の内訳

【近畿総体2026開催費】	
滋賀県実行委員会負担金	25,143
【ワールドマスターズゲームズ2027関西開催費】	
草津市実行委員会負担金	1,000

にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	スマート農業推進事業費補助金			区分	新規
令和8年度 事業費	担当部局・所属	環境経済部		農林水産課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
8,000					8,000

<事業の概要>

農業者の高齢化や担い手不足を補い、持続可能な農業を実現するため、スマート農機等の導入を支援し、農業者の農作業の省力化・効率化を図ります。

【主な内容】

(対象者) 認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織、地域計画の目標地図に位置付けられた者

(対象経費) ・ドローンや自動操舵トラクター等のスマート農機の導入に係る経費

およびドローン免許取得費用

・RTK基地局(※)ライセンス使用料

(補助率・補助上限) 補助率 1/2

一人当たり年額100万円

【スケジュール】

令和8年度上期 補助金申請者の募集・交付決定

令和8年度下期 スマート農業に関する情報交換会の開催(2回程度)

※RTK基地局

衛星の電波を利用して農機の位置を一般的なGPSよりも正確に補正するものです。これを活用することで、トラクターの自動運転やドローンの正確な自動運転が可能になります。

<事業の目的・効果>

本補助金を活用した農業者が、トップランナーとして、スマート農業の普及・拡大を牽引し、スマート化によって生産性を高めることにより、農地の保全や魅力ある農業の発展につなげます。

	経費の内訳	
	スマート農業推進事業費補助金	8,000

にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	道の駅草津リノベーション推進費			区分	継続
令和8年度 事業費	担当部局・所属	環境経済部		農林水産課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
23,857	11,928		10,700	緑 1,000	229

<事業の概要>

道の駅草津は、都市と農村との地域間交流や道路利用者の休憩機能などを併せ持った施設として、平成15年度に供用を開始しました。

供用開始から20年以上が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいることから、令和4年2月に策定した「道の駅草津リノベーション構想」に基づき、道の駅草津の機能や魅力の向上等を通して、本市の農業振興を図るとともに、地方創生の拠点形成を目指します。

令和8年度は、実施設計業務を行います。

【主な内容】

「道の駅草津リノベーション基本設計」に基づく「グリーンプラザからすま」の改修および増築等の実施設計業務

【主なスケジュール】

令和8年度 実施設計業務

令和9年度～令和10年度 改修および増築工事

令和10年度 リニューアルオープン

<事業の目的・効果>

道の駅草津のリノベーションを進めることによって、地域の活性化や観光客の誘客促進を図り、農業振興や地方創生の拠点形成を目指します。



▲道の駅草津

経費の内訳	
道の駅草津リノベーション実施設計費	23,857

にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	馬場山寺基盤整備費			区分	継続
令和8年度 事業費	担当部局・所属	環境経済部		農林水産課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,538			2,200		2,338

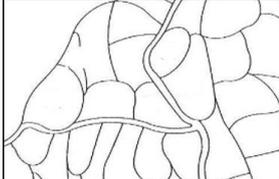
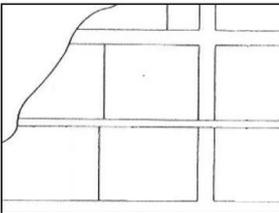
<事業の概要>
 馬場山寺地域の未整備田において、県営事業として基盤整備(ほ場整備)事業を実施します。
 基盤整備事業により、農地の大区画化や、道路および水路を整備し、安定的で効率的な農業経営を可能にします。また、整備後の農地を、農業生産を担う経営体(担い手)へ集積ならびに集約をあわせて行います。
 令和8年度は、整備工事を進めます。

【実施場所】
 草津市馬場町、山寺町地先

【事業面積】
 67.5ha

【スケジュール】
 令和8年度～ 整備工事(県営事業)

<事業の目的・効果>
 農地の大区画化と担い手農家への農地集積により、生産性の向上や経営規模拡大などの体質強化を図り、地域農業の振興と優良農地の確保・保全を進めます。

<p>〈現状〉</p>  <p>農地が不整形であり作業効率が悪い</p>	経費の内訳	
	<p>〈計画図〉</p>  <p>整形、大区画化した農地では作業効率が向上</p>	県営事業負担金 2,812 土地改良区運営補助金 1,726

にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	デスティネーションキャンペーン推進費			区分	新規・拡大
令和8年度 事業費	担当部局・所属	環境経済部		商工観光労政課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
15,810	7,905				7,905

<事業の概要>

JRグループ6社と自治体等が協働で全国から誘客を図る大型観光キャンペーンであるデスティネーションキャンペーン(以下「滋賀DC」という。)が滋賀県において、令和9年に実施されます。滋賀DCのプレ期間である令和8年度は、本市においても、「観光元年」と位置付けた平成8年から30周年を迎える節目の年度であることから、本市の観光コンテンツの創出・強化、プロモーションの促進等、観光誘客の取組を進めます。

【観光コンテンツの創出・強化】<<新規>>

- ・観光周遊促進事業費
30周年にゆかりのある地を周遊できる謎解きコンテンツを創出し、市外からの誘客強化の取組を実施します。
- ・観光コンテンツ強化費
市内観光事業者に対し、観光コンテンツの創出を促し、滋賀DCを通じて全国にPRすることで認知度を向上させ、市内で滞在時間の延長を図る取組を強化します。

【プロモーションの強化】<<新規>>

- ・大規模イベント誘致補助金
市外への認知度向上を目的に新たな大規模イベントの実施を促進するため、イベント開催に係る費用の一部を支援します。(補助率:1/2 補助上限額:イベント規模に応じて500千円~1,300千円)
- ・滋賀DC誘客促進事業費
旅行会社等が作成するパンフレットやツアー情報に掲載してもらうことで誘客を促進します。

<事業の目的・効果>

滋賀DCの実施に合わせて、本市の観光資源の魅力を発信し、交通アクセスを活かした誘客を促進することで、来訪者数および宿泊者数の増加を図り、観光消費額の向上につなげます。

経費の内訳		
<p style="text-align: center;">観光消費額の向上</p>	【観光コンテンツの創出・強化】	
	観光周遊促進事業費	8,663
	観光コンテンツ強化費	1,100
	【プロモーションの強化】	
	大規模イベント誘致補助金	1,800
	滋賀DC誘客促進事業費	1,300
	【その他拡大事業費】	
	着地型観光事業費	800
	地域観光資源発掘事業費	300
	インバウンド誘致事業費	800
物産振興事業費	200	
イナズマ連携事業費	847	

にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	中小企業等人材確保支援補助金			区分	新規
令和8年度 事業費	担当部局・所属	環境経済部		商工観光労政課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,720	3,000				3,720

<事業の概要>

中小企業等に対する新たな支援として、市内の中小企業等の安定的な事業展開を後押しするため、人材確保に係る費用の一部を支援するとともに、中小企業等が実施する奨学金返還支援制度を支援することにより、人材の定着を図ります。

【主な内容】

制度名	補助対象経費	補助率	補助限度額	見込み
人材確保支援補助金	①転職サイトを活用した人材採用に係る費用	1/2	300千円/1社 (①・②は採用につながった場合のみ)	20件
	②人材紹介会社を利用した成功報酬型の人材採用に係る費用			
	③転職フェア等の出展に係る費用			
奨学金返還支援補助金	従業員の奨学金返還支援のために事業者が直接支払った額	1/2	45千円/1人 ※	16件

※滋賀県産業支援プラザの補助額1/2を上限とする

【スケジュール】

令和8年4月～ 申請受付開始

<事業の目的・効果>

市内中小企業等に対して、人材の確保と人材の定着に係る取組を支援することにより、市内中小企業等の安定的な事業の展開を後押しするとともに、競争力の強化を通じた市内経済の振興を図ります。

企業の人材確保と定着を応援！！



経費の内訳

人材確保支援補助金	6,000
奨学金返還支援補助金	720

にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	中小企業等DX推進補助金			区分	拡大
令和8年度 事業費	担当部局・所属	環境経済部		商工観光労政課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,000	1,500				1,500

<事業の概要>

市内中小企業・小規模事業者の業務効率化を目的として、現場の実務を通じたデジタルスキルの習得や自立的な変革を担う「人材の育成」に加え、その基盤となる「機器等の導入」も新たに対象として拡充します。現場での実践と環境整備を両面から支援することで、中小企業等の更なるDX化を推進します。

【主な内容】

制度名	区分	補助対象経費	補助対象者	補助率	補助限度額	見込み
中小企業等 DX推進補助金	環境整備 (※)	機器購入費(汎用的に使用するパソコン等は対象外)	市内中小企業・ 小規模事業者 (製造業以外の業種)	1/2	300千円	5件
		業務ソフトウェア購入費および使用料				
中小企業等 DX推進補助金	人材育成	各種研修の受講および講習参加に要する経費		1/2	300千円	
		外部講師または専門家による研修や技術指導に要する経費				

※人材育成の申請は必須。環境整備のみの申請は不可。

【スケジュール】

令和8年4月～ 申請受付開始

<事業の目的・効果>

市内中小企業等に対し、人材育成を含めたDX環境の構築に必要な機器導入や運用を支援することで、各企業の安定的な事業展開を促し、競争力の強化を通じた市内経済の振興を図ります。

経費の内訳	
中小企業等DX推進補助金	3,000

草津市

↓ 補助金

市内中小企業等

- 外部研修や技術指導によるDX人材の育成
- DX化に向けた機器等の導入

↓ 安定的な事業展開
競争力の強化

DX促進による市内経済の振興

経費の内訳	
中小企業等DX推進補助金	3,000

にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	スタートアップ創出等支援事業費			区分	新規
令和8年度 事業費	担当部局・所属	環境経済部		企業立地推進室	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
8,312	4,156				4,156

<事業の概要>

本市と立命館大学は、先進的なアイデア・技術を強みに短期間で急成長を遂げる企業(スタートアップ)の創出等に向けて協力して取り組むため、令和7年7月に覚書を締結しました。
令和8年度は、(仮称)イノベーション集積拠点(※)の創出を見据えて、立命館大学や関係団体等と連携し、地域に根差したスタートアップの創出・成長・集積に向けた取組を実施します。

【主な内容】

・スタートアップ創出等支援事業費補助金

起業家育成プログラムの提供、スタートアップ×地域企業の共創・マッチングに係る取組に対する支援
(対象者:立命館大学 補助率:1/2)

・実証実験支援事業費補助金

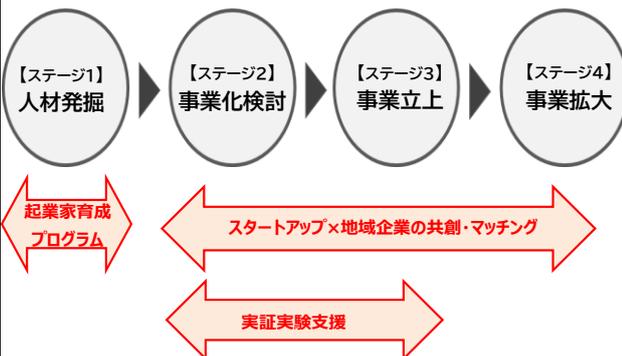
本市をフィールドとする社会課題解決等に資する実証実験に対する支援
(対象者:市内に活動拠点を有するスタートアップ等、スタートアップと連携する市内企業 補助率:2/3
上限100万円 見込み5件)

(※)滋賀県南部地域の経済成長を牽引し、スタートアップや既存企業などの交流・集積による新たな価値を生み出すオープンイノベーションの促進に向けて、令和7年度から事業成立性等の検討を進めています。

<事業の目的・効果>

(仮称)イノベーション集積拠点の創出を見据え、スタートアップ支援施策を計画的に実施し、広報・ブランディングを通じて、「スタートアップが成長・集積できる」「人・企業の交流が活発」「新たな事業に挑戦しやすい」まちを目指します。

<スタートアップ創出等に向けた事業ステージごとの施策>



経費の内訳

スタートアップ創出等	
支援事業費補助金	3,250
実証実験支援事業費補助金	5,000
その他事務費	62

にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	企業立地推進費			区分	新規
令和8年度 事業費	担当部局・所属	環境経済部		企業立地推進室	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
18,676					18,676

<事業の概要>

本市では、戦略的な企業立地・集積に向けた取組を推進することで、地域経済の活性化を図り、活力に満ちたまちを目指しています。

令和8年度は、新たな産業用地の確保を図るため、ため池の利活用に向けた可能性を調査するとともに、「草津市都市計画マスタープラン」との整合を図りながら、高付加価値を生み出す産業集積エリアの形成に向けた整備計画の検討を令和8年度から令和9年度までの2か年で実施します。

また、企業ニーズの多様化や相談件数の増加に対応するため、企業立地マッチング支援事業や企業立地ガイドおよび専用ホームページの作成により、企業立地に関する相談体制の強化を図ります。

【主な内容】

(令和8年度)

- ・ため池利活用可能性調査
- ・企業立地マッチング支援事業((一財)日本立地センターによる企業立地情報の活用)
- ・企業誘致広報PR事業(企業立地ガイドの作成および専用ホームページの作成)

(令和8年度～令和9年度)

- ・産業集積エリア整備計画検討業務

<事業の目的・効果>

戦略的な企業立地・集積を図るため、地域の強みを生かし、「(仮称)イノベーション集積拠点の創出」、「新たな産業用地の確保」、「高付加価値を生み出す産業集積エリアの形成」の3つの取組を一体的に推進することで、その経済効果が本市のみならず、滋賀県全体に波及されることを目指します。

		経費の内訳
<p>【新産業創出】 (仮称)イノベーション集積拠点の創出</p> <p>戦略的な企業立地・集積による地域経済の活性化</p> <p>【企業立地】 新たな産業用地の確保</p> <p>【企業誘致】 高付加価値を生み出す産業集積エリアの形成</p>	ため池利活用可能性調査費	7,942
	産業集積エリア整備計画検討費	5,291
	企業立地推進員配置費	3,769
	企業誘致広報PR事業委託費	1,517
	企業立地ガイド印刷製本費	157
	(債務負担行為)	
	令和9年度	
	産業集積エリア整備計画検討費	8,700

にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	まちづくりセンター跡地暫定活用事業費			区分	新規
令和8年度 事業費	担当部局・所属	都市計画部		交通政策課・都市地域戦略課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
25,976					25,976

<事業の概要>

まちづくりセンター跡地において一時的な代替施設として整備した草津駅西口第5自転車駐車場については、将来の高度利用を見据え、施設の解体工事を行うとともに、解体後の跡地で暫定活用を予定している「緑のひろば」の一部として残置し、有効活用を検討します。

なお、設備の一部は、南草津駅周辺におけるバイク駐車需要増加に対応するため、南草津駅自転車自動車駐車場へ移設し、再利用します。

また、「草津駅周辺エリア未来ビジョン」においてイメージしている「緑のひろば」による賑わい創出に向けて、エリアマネジメントによる収益事業の検討や維持管理の仕組み、利活用における制約条件等の整理を行うため、ワークショップや社会実験を通じて暫定活用の調査を行います。

【主な内容】

- ・草津駅西口第5自転車駐車場(まちづくりセンター跡地)の施設解体
- ・南草津駅自転車自動車駐車場へ設備の一部を移設
- ・自転車駐車場解体後のまちづくりセンター跡地の暫定活用に向けた調査

【スケジュール】

- 令和8年7月～10月 解体・移設工事(草津駅西口第5・南草津駅自転車自動車駐車場)
- 令和8年11月以降 社会実験実施(緑のひろば)

<事業の目的・効果>

施設の解体を行い、一部の設備を活用することで、南草津駅周辺におけるバイク駐車スペースの充実を図ります。また、「緑のひろば」として暫定利用による市民の憩いの場の創出に向けた調査を行います。



草津駅西口第5自転車駐車場(閉鎖済)

経費の内訳

草津駅西口第5自転車駐車場	
解体・移設工事費	22,976
まちづくりセンター跡地	
暫定活用検討調査費	3,000

にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	草津PA基本構想推進費			区分	継続
令和8年度 事業費	担当部局・所属	都市計画部		都市地域戦略課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
11,059					11,059

<事業の概要>

びわこ文化公園都市周辺エリアは、名神高速道路等の広域的な道路ネットワークに加え、医療・福祉・学術・産業等が立地する恵まれた環境を有しているため、「滋賀県南部エリアの新たな玄関口」として滋賀県南部エリアの活性化につなげるよう、名神高速道路草津パーキングエリア(PA)と連携した拠点の創出を目指しています。

令和8年度は、国・県・大津市などの関係者と連携し、草津PA周辺における新たな移動手段の確保に向けた交通社会実験等を行い、「滋賀県南部エリアの新たな玄関口」の創出に向けて取り組みます。

【主な内容】

- ・びわこ文化公園都市での交通社会実験(シェアサイクル、グリーンスローモビリティ※)の実施
- ・懇話会の開催

【スケジュール】

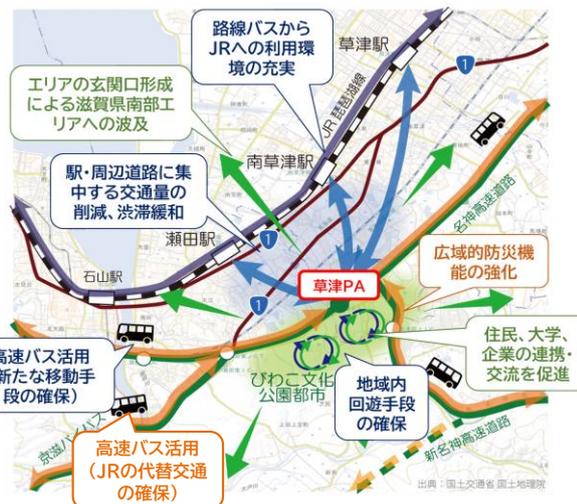
令和8年度 交通社会実験(シェアサイクル、グリーンスローモビリティ)の実施

※グリーンスローモビリティ・・・時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称です。

<事業の目的・効果>

地域振興機能や広域的な防災機能を備えた公共交通結節拠点を整備することで、市民の交通利便性や暮らしの質の向上および地域の活性化や安全・安心に寄与し、「草津市都市計画マスタープラン」に位置付けている複合連携核としての拠点の形成を図ります。

【草津PA基本構想】



経費の内訳

シェアサイクル社会実験費	5,898
グリーンスローモビリティ社会実験費	3,640
会議運営費	1,168
その他事務費	353

にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	西消防署跡地生活拠点等形成事業費			区分	新規
令和8年度 事業費	担当部局・所属	都市計画部 総務部		都市地域戦略課 総務課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
5,269				諸 1,960	3,309

<事業の概要>

西消防署跡地について、「草津市版地域再生計画」の生活拠点を形成するため、市所有地と下笠町財産区所有地を一体的に活用し、商業機能や医療・福祉機能あるいは子育て世代の相談・交流等の地域のニーズを踏まえた民間による多機能型の生活サービス施設の誘導に向け、事業者の募集を行います。

【主な内容】

- ・プロポーザル発注のための募集要項等作成支援
- ・事業者選定委員会の運営支援

【スケジュール】

- 令和8年 4月 事業化調査・プロポーザル募集要項等作成
- 令和8年12月 事業者公募・選定開始
- 令和9年 3月以降 事業者決定

【西消防署跡地 面積】

- 全体面積 4,220.24㎡
- ・市所有地 2,619.69㎡
- ・下笠町財産区所有地 1,600.55㎡

<事業の目的・効果>

西消防署跡地を草津市版地域再生計画における地域再生拠点として民間活用することにより、生活利便性の向上を図ります。

地域住民等の意見を踏まえ、必要な生活拠点としての機能や公募・選定の仕組みを検討し、より効果的な地域再生拠点の形成を目指します。

また、市所有地と下笠町財産区所有地を有効活用し、新たな財源確保に努めます。



経費の内訳

【一般会計】

西消防署跡地生活拠点等 形成支援業務委託費	5,170
その他事務費	99

【財産区特別会計】

下笠町財産区繰出金	1,960
-----------	-------

にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	ロクハ公園プール再整備費			区分	継続
令和8年度 事業費	担当部局・所属	建設部		公園緑地課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
10,379	2,172				8,207

<事業の概要>

オープンから35年以上が経過し、老朽化が進むロクハ公園プールの再整備を行います。
 令和7年度においては、学識経験者等で構成する検討委員会からの意見も踏まえ、近年の社会情勢の変化や物価動向なども踏まえた再整備の方向性について検討を進めました。
 令和8年度においては、これまでの検討内容をとりまとめた基本計画の策定と民間活力導入可能性調査を実施するとともに、再整備事業とその後の公園運営を担う事業者の募集・選定に向けた準備を進めます。

【主な内容】

アドバイザー業務(基本計画策定、民間活力導入可能性調査、事業者選定準備)

【スケジュール】

令和8年度 基本計画策定、民間活力導入可能性調査、事業者選定準備
 令和9年度 事業者の選定
 令和10年度 事業契約の締結、再整備着手
 令和12年度 再整備完了、供用開始

<事業の目的・効果>

老朽化の進むロクハ公園プールについて、社会情勢や市民ニーズを踏まえた再整備を行うことで、ロクハ公園の更なる賑わいの創出を目指します。

 <p>現在のロクハ公園プール</p>	経費の内訳	
	アドバイザー業務委託費	9,548
委員会運営費	312	
その他事務費	519	
(債務負担行為)		
令和9年度～10年度		
アドバイザー業務委託費	27,800	

にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	草津川跡地整備費・公園運営費			区分	継続
令和8年度 事業費	担当部局・所属	建設部		草津川跡地整備課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,216,282	410,800	16,285	401,800	繰 上 諸 47,000 119,758	220,639

<事業の概要>

草津川跡地利用基本計画に基づき、区間ごとに順次公園整備を進めるとともに、供用を開始している公園の管理運営に取り組んでいます。令和8年度は、令和7年度に引き続き栗東市と連携を図りながら、区間6の工事等を実施するとともに、民間事業者誘致エリアの事業者選定を行います。
また、公園のにぎわいの創出や、こどもの居場所づくりの取組として、区間4のJR琵琶湖線上部に遊具等の設置を行います。公園運営については、ai彩ひろば、de愛ひろば等の管理を行います。

【主な内容およびスケジュール】

草津川跡地整備費

・区間6整備事業

令和8年度～令和10年度に土砂搬出、道路・公園整備等の工事を行います。

令和8年度に民間事業者誘致エリアの事業者選定を行い、令和9年度に選定された事業者において工事を実施し、令和10年度に民間事業者誘致エリアの供用開始を目指します。

・区間4JR琵琶湖線上部遊具等設置工事

令和8年度に遊具と日陰対策施設の設置を行います。

草津川跡地公園運営費

・草津川跡地公園指定管理業務

ai彩ひろば、de愛ひろばについて指定管理者による管理を行います。

<事業の目的・効果>

にぎわいが創出され、人と自然が触れ合い、うるおいがもたらされる空間づくりに取り組んでいくために、草津川跡地が市民の憩いの場や、多様な市民活動の場、また、多くの人に関わる魅力的な空間、災害時の防災空間となるよう整備・運営を行います。



【イメージ】①(国道1号から西側を望む)



【イメージ】②(国道1号から東側を望む)



経費の内訳

【草津川跡地整備費】

区間6整備工事費等	1,026,446
民間事業者誘致支援業務委託費	11,003
区間4JR上部遊具等設置費	34,991
その他維持管理費等	35,568

【草津川跡地公園運営費】

草津川跡地公園指定管理料	91,654
その他維持管理費等	16,620

(債務負担行為)

令和9年度

区間6民間事業者誘致事業費	315,000
---------------	---------

令和9年度～令和10年度

区間6整備工事費	1,606,800
----------	-----------

にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	史跡草津宿本陣30周年記念事業費・ 史跡草津宿本陣・史跡芦浦観音寺跡整備費			区分	新規・継続
令和8年度 事業費	担当部局・所属	教育委員会		草津宿街道交流館・歴史文化財課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
179,364	78,751		69,800	使 繰 315 20,272	10,226

<事業の概要>

本市を代表する歴史資産である史跡(草津宿本陣・芦浦観音寺跡)を未来へ継承するため、適切な保存整備と普及啓発事業を実施します。

【主な内容】

史跡草津宿本陣30周年記念事業<<新規>>

令和8年度は、平成の大修理を終え一般公開を開始してから30年を迎えることから、これを記念し、年間を通じ、多くの人に 本陣の魅力を再発見してもらえる事業を展開します。

- ・小学生招待プロジェクト事業(史跡草津宿本陣に小学生を招待し、見学・体験する機会を作ります。)
- ・本陣タイムスリップ事業(職員が和装し、江戸時代の様子を再現した中で、来館者も衣装体験ができます。)
- ・幕末の本陣を彩った偉人の子孫等によるトークショー 等

史跡草津宿本陣整備事業<<継続>>

令和7年度に引き続き、歴史的建物(物入)の実施設計および保存修理工事を行います。

史跡芦浦観音寺跡整備事業<<継続>>

令和7年度に引き続き、土蔵・倉の保存修理工事および植栽整備工事を行うとともに、高塀等の実施設計を行います。

<事業の目的・効果>

史跡草津宿本陣は、一般公開を始めてこれまでに約56万人が訪れました。このたび30周年を迎えるのを契機に、地域や関係団体との連携事業を継続・深化するとともに、更なる魅力発信を図る各種事業を実施することで、将来にわたり市内外に意識され続けていく、幕開けの年とします。

また、史跡草津宿本陣および史跡芦浦観音寺跡について、計画的に保存整備を行うことで、史跡を未来に向けて保存・継承し、学びや観光面での活用を図ります。



史跡草津宿本陣と衣装体験風景



史跡芦浦観音寺跡(倉)

経費の内訳

史跡草津宿本陣30周年記念事業費	
小学生招待プロジェクト事業費	3,960
本陣タイムスリップ事業費	2,215
トークショー開催費	501
その他事務費	275
史跡草津宿本陣整備費	
保存修理工事費・監理費	32,329
実施設計・懇話会運営費等	15,207
史跡芦浦観音寺跡整備費	
保存修理工事費・監理費	97,342
実施設計・懇話会運営費等	15,568
史跡整備関連費	11,967

にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	(仮称)歴史資料館整備費			区分	継続
令和8年度 事業費	担当部局・所属		教育委員会	歴史文化財課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
115,828				繰 107,887	7,941

<事業の概要>
 本市の豊かな歴史文化を後世に引き継ぎ伝え、貴重な文化財を保存・活用していくため、令和7年度に引き続き、「信仰文化」と「民俗」をテーマとする「(仮称)草津市歴史資料館」の整備基本計画を策定します。令和8年度は、用地取得を行うとともに、建物の建設に向けて、建築・展示の基本設計、土地造成設計を実施します。

【主な内容】
 ・用地取得
 ・建築基本設計
 ・展示基本設計
 ・土地造成設計
 ・審議会開催
 ・収蔵・展示資料調査

<事業の目的・効果>
 (仮称)歴史資料館を整備することで、貴重な財産である本市の歴史資産を将来にわたり保存・継承していくとともに、広く親しんでいただくための公開・活用を図ります。また、現在整備を進めている史跡芦浦観音寺跡の公開との相乗効果の創出を目指します。

<p>STEP1 建築・展示基本設計、造成設計</p> <p>STEP2 建築・展示実施設計、造成工事</p> <p>STEP3 建築工事、展示工事</p> <p>STEP4 建物の枯らし 建物の建材などから発生する水分や歴史資料に有害な物質の濃度を下げ、建物内の空気環境を安定させること。</p> <p>開 館</p>	経費の内訳	
	用地取得費	79,111
	建築基本設計業務委託費	23,496
	展示基本設計業務委託費	12,613
	審議会開催費	209
資料調査費	399	
(債務負担行為) 令和9年度		
土地造成設計業務委託費	38,000	

暮らしの安全・安心向上プロジェクト

(単位:千円)

事業名	防災対策費		区分	新規・継続
令和8年度 事業費	担当部局・所属	総合政策部 上下水道部	危機管理課 給排水課	
	財源内訳			
	国庫支出金	県支出金	市債	その他
35,568				35,568

<事業の概要>

大規模災害に備え、市民生活の安心を守るため、更なる防災体制の強化を図ります。

【主な内容】

- ・危機管理センター整備基本計画策定業務<<新規>>
近年、激甚化・頻発化する地震や風水害等の災害に対して迅速かつ的確に対応するため、庁舎に併設する危機管理センターの整備に向けて基本計画を策定します。
(スケジュール)
令和9年度以降 基本設計・実施設計・整備工事
- ・防災備蓄品の購入<<新規>>
災害発生直後における避難所の衛生環境を保全するため、携帯トイレ50箱(25,000回分)を購入します。
- ・給水車の購入<<継続>>
地震等の災害により断水などの影響を受けた地域に速やかな給水支援を行うため、給水車(2台)を更新し、安定的な給水支援体制の継続を図ります。
(スケジュール)
令和8年度 給水車(110号車・2t)購入
令和9年度 給水車(119号車・3t)購入

<事業の目的・効果>

災害時に災害対策本部を設置し、国、県、応援自治体、自衛隊、警察、消防等の関係機関が集まり、応急対策、復旧、復興業務の立案等を行うことを想定し、災害対策本部機能の充実や関係機関からの派遣人員の活動・生活機能を備えた危機管理センターの整備に向けて基本計画を策定し、大規模災害への備えを進めます。
また、能登半島地震では、避難所の衛生環境が劣悪であったことから、衛生環境を保全するため、携帯トイレを購入します。
さらに、給水車の更新により、将来を見据えた災害支援体制の強化を図り、大規模災害時等において迅速かつ効率的な給水支援を行います。

		経費の内訳
 <p>携帯トイレ</p>		【危機管理センター整備基本計画策定費】 基本計画策定業務委託費 6,719 先進地視察旅費 172
		【防災備蓄品購入費】 携帯トイレ購入費 3,025
 <p>災害派遣時の給水車(能登半島)</p>		【給水車購入費】 給水車購入費(110号車・2t) 25,652 (債務負担行為) 令和9年度 給水車購入費(119号車・3t) 27,600

暮らしの安全・安心向上プロジェクト

(単位:千円)

事業名	草津栗東行政事務組合負担金(火葬場整備)			区分	継続
令和8年度 事業費	担当部局・所属 まちづくり協働部			生活安心課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
201,834				繰 145,000	56,834

<事業の概要>

草津市と栗東市で構成する草津栗東行政事務組合において、新たな火葬場の整備に向けて、「(仮称)草津栗東火葬場整備基本計画」に基づき、民間活力の活用によるPFI方式で事業を進めています。

令和9年度末の供用開始に向け、事業が円滑に推進されるよう、組合および栗東市と連携して取り組みます。

【主な内容】

草津栗東行政事務組合が実施する火葬場整備に係る負担金

- ・火葬場整備・運営事業(令和7年度～令和24年度)
- ・火葬場設計・建設モニタリング業務(令和7年度～令和9年度)

【スケジュール】

- | | |
|-----------------|-------------|
| 令和 7年7月～令和 8年7月 | 造成工事、建築設計業務 |
| 令和 8年8月～令和10年3月 | 建築工事 |
| 令和10年3月 | 供用開始予定 |
| 令和10年3月～令和25年3月 | 維持管理業務、運営業務 |

<事業の目的・効果>

草津栗東行政事務組合が整備する新たな火葬場において、将来の火葬需要に対応できる火葬炉の確保および必要な施設機能が整備できるよう、今後も組合および栗東市とともに取り組みます。



(完成イメージ図)

経費の内訳

草津栗東行政事務組合負担金	201,834
---------------	---------

暮らしの安全・安心向上プロジェクト

(単位:千円)

事業名	ゼロカーボンシティくさつ推進費			区分	新規・拡大
令和8年度 事業費	担当部局・所属	環境経済部 他		温暖化対策室 他	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
103,356	13,777		12,400	繰 上 諸 29,224 23,098	24,857

<事業の概要>

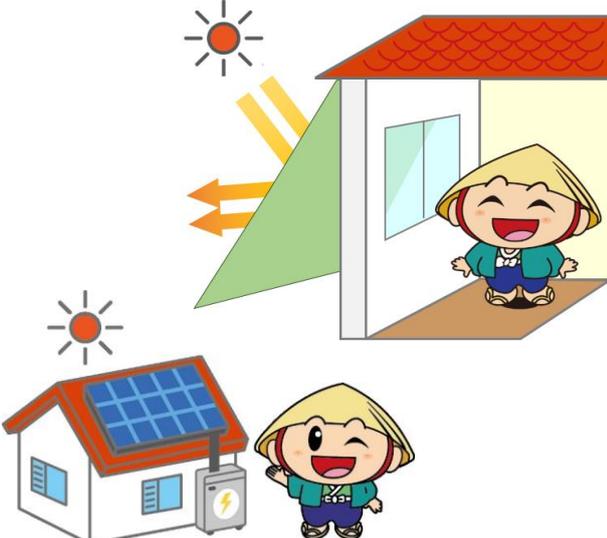
ゼロカーボンシティくさつの実現に向け、「草津市地球温暖化対策実行計画」に基づく施策を展開します。

【主な内容】

- ・健幸エコハウス補助金
外付け日よけ…住まいの断熱対策として外付け日よけの購入支援<新規>
(補助率1/2 上限2万円 約1,000件)
太陽光発電・蓄電池…家庭用太陽光発電設備等の導入支援<継続>
(太陽光発電+蓄電池:上限30万円 20件、蓄電池のみ:上限15万円 20件)
- ・公共施設太陽光発電設備設置事業<拡大>
市内小中学校5校:積載荷重確認等
(草津小学校、草津第二小学校、山田小学校、笠縫小学校、玉川中学校)
地域まちづくりセンター3施設:実施設計業務
(大路まちづくりセンター、渋川まちづくりセンター、常盤まちづくりセンター)
- ・ごみ発電利活用(自己託送)事業…ごみ発電の余剰電力を浄水場で活用(令和8年1月開始)
- ・公用車への電動車導入事業…電動車(ハイブリッド車)を導入(26台)
- ・省エネ・再エネ等設備導入加速化補助金…中小企業への省エネ・再エネ等設備導入支援
(補助率1/3以内 上限10~210万円 11件) ※導入設備により異なる
- ・地球冷やしたいプロジェクトの推進

<事業の目的・効果>

「草津市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」に基づき、ごみ発電の余剰電力の活用、太陽光発電設備設置に向けた事業、公用車への電動車導入等により、CO2排出量の削減を図ります。
また、「草津市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(第5次草津市地球冷やしたいプロジェクト)」に基づき、市域全体の「脱炭素社会への転換」に向けた施策の充実を図ります。

		経費の内訳	
		金額	千円
	健幸エコハウス補助金	14,513	
	公共施設太陽光発電設備設置費	39,061	
	ごみ発電利活用(自己託送)事業費	31,366	
	公用車への電動車導入事業費	5,492	
	省エネ・再エネ等設備導入 加速化補助金	9,919	
	地球冷やしたいプロジェクト推進費	3,005	

暮らしの安全・安心向上プロジェクト

(単位:千円)

事業名	大江霊仙寺線(南笠工区)整備費			区分	継続
令和8年度 事業費	担当部局・所属		建設部	道路課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
297,120	146,118		131,500	緑 14,000	5,502

<事業の概要>

都市計画道路大江霊仙寺線のうち、令和5年3月に供用した区間(約390m)の先線となる都市計画道路平野南笠線の接続点までの区間(その2)の整備を進め、南北の幹線道路としてJR南草津駅周辺の渋滞緩和や大津方面への交通アクセスの確保を図ります。

【整備内容】

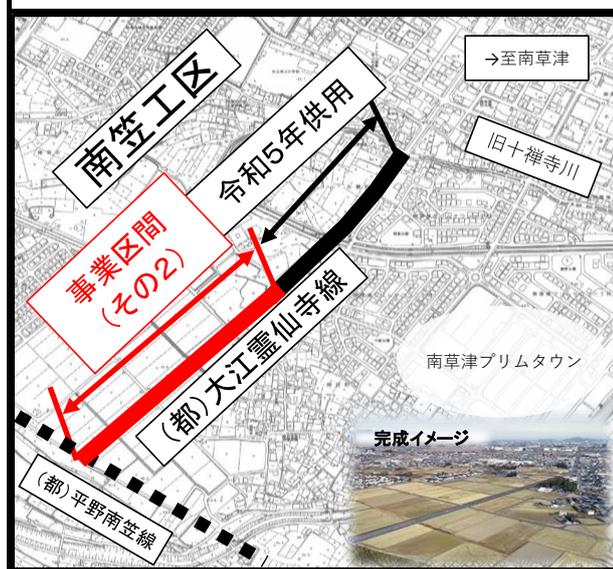
都市計画道路整備
延長=約530m 幅員=16m

【実施内容】

- ・用地測量業務
- ・用地取得
- ・工作物等補償
- ・埋蔵文化財調査業務

<事業の目的・効果>

南北の幹線道路を整備することにより、JR南草津駅周辺の渋滞緩和や大津方面への交通アクセスの確保を図ります。



経費の内訳

用地測量業務委託費	8,976
用地取得費	208,748
不動産鑑定手数料	2,771
分筆登記等委託費	1,400
工作物等補償費	25,232
埋蔵文化財調査業務委託費	49,280
その他事務費	713

暮らしの安全・安心向上プロジェクト

(単位:千円)

事業名	平野南笠線整備費			区分	継続
令和8年度 事業費	担当部局・所属	建設部		道路課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
34,901					34,901

<事業の概要>

都市計画道路平野南笠線は、滋賀県が進める「滋賀県道路整備アクションプログラム2023」と連携し、滋賀県と草津市が一体となって整備を進めます。
 整備にあたり、全線において更なる検討が必要であるため、全線のうち、草津市が事業化区間として位置付けた「新浜工区」および調査検討区間に位置付けられた「南笠工区」について、滋賀県とともに道路予備設計等の概略検討を進めます。

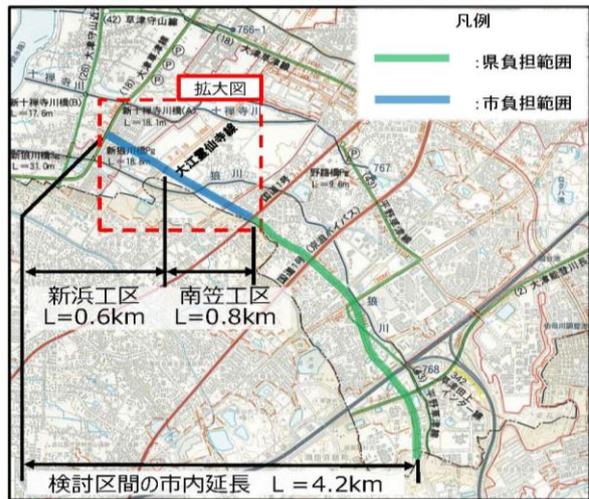
【検討内容】

都市計画道路整備
 (全線のうち新浜工区・南笠工区)
 延長=約1.4km 幅員=24m

【実施内容】

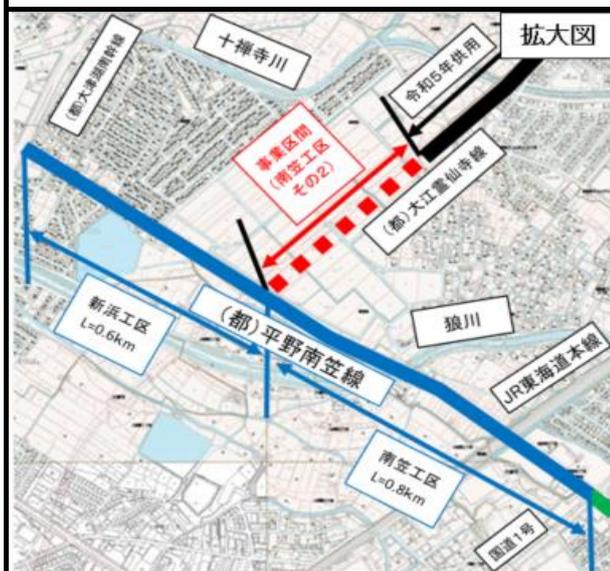
- ・測量業務
- ・交通量推計業務および道路予備設計業務
 (市負担範囲を含め、滋賀県が全線で一括して検討)

〔都市計画道路 平野南笠線 全線位置図〕



<事業の目的・効果>

路線全体として草津市南部を東西に横断する幹線道路を整備することにより、「草津市都市計画マスタープラン」に掲げる将来都市構造の実現に向けた都市環状軸を形成するとともに、「草津市都市計画道路整備プログラム」で事業化区間として位置付けた「新浜工区」を整備することにより、南北の幹線道路である都市計画道路大江霊仙寺線の先線としてのストック効果を発揮し、JR南草津駅周辺の渋滞緩和や大津方面への交通アクセスの確保を図ります。



経費の内訳

測量業務委託費	17,006
県負担金	17,858
その他事務費	37

暮らしの安全・安心向上プロジェクト

(単位:千円)

事業名	東草津北2号線整備費			区分	継続
令和8年度 事業費	担当部局・所属	建設部		道路課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
634,042	283,300		311,700	緑 39,000	42

<事業の概要>

市道東草津北2号線は、現在計画している草津川跡地(区間6)道路と都市計画道路矢倉草津線(ふれあいロード)を結ぶ路線であり、草津川跡地(区間6)道路の整備により交通量の増加が見込まれることから、拡幅・整備を行います。

【整備内容】

東草津北2号線道路整備 延長=200m 幅員=15m

【実施内容】

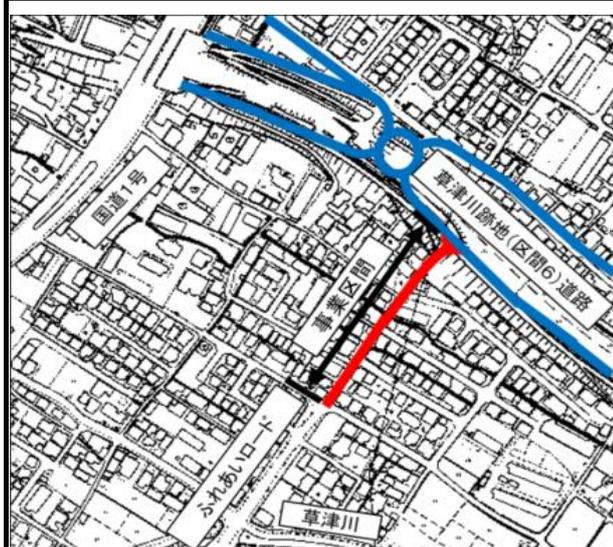
- ・用地取得
- ・建物等補償
- ・道路整備工事

【スケジュール】

令和9~10年度 道路整備工事
令和11年度以降 供用開始予定

<事業の目的・効果>

草津川跡地(区間6)道路の整備により交通量の増加が見込まれることから、当該道路を整備することで、草津川跡地公園へのアクセス道路の確保や、栗東方面・国道1号への利便性の向上が期待でき、併せて歩道を整備して歩行者の安全対策を図ります。



経費の内訳

用地取得費	164,395
不動産鑑定手数料	660
分筆登記等委託費	1,200
建物等補償費	451,107
補償調査再積算業務委託費	1,000
道路整備工事費	15,680

暮らしの安全・安心向上プロジェクト

(単位:千円)

事業名	南草津駅エスカレーター改修費			区分	継続
令和8年度 事業費	担当部局・所属		建設部	道路課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
105,754	52,800		47,600	緑 5,000	354

<事業の概要>
 JR南草津駅エスカレーターの一部については、建築後相当年数が経過しており、老朽化が進んでいることから、市民の安全・安心かつ快適な移動経路を確保するため、改修工事を実施します。

【整備内容】
 JR南草津駅エスカレーター改修工事、工事監理業務
 ・東口2基(上り・下り) <令和7年度～令和8年度>
 ・西口1基(上り) <令和8年度～令和9年度>

<事業の目的・効果>
 改修を行うことにより、市民の安全・安心かつ快適な移動経路の確保を図ります。

 <p>東口 JR南草津駅 東口 エスカレーター 対象:上り下り2基</p>	経費の内訳	
	改修工事費(東口2基)・監理費	57,391
 <p>西口 JR南草津駅 西口 エスカレーター 対象:上り1基</p>	改修工事費(西口1基)・監理費	48,363
	(債務負担行為) 令和9年度	
	改修工事費(西口1基)・監理費	34,500

暮らしの安全・安心向上プロジェクト

(単位:千円)

事業名	北山田浄水場耐震補強・浸水対策費			区分	継続
令和8年度 事業費	担当部局・所属		上下水道部	北山田浄水場	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
632,448			415,600	繰 諸 144,300 72,307	241

<事業の概要>

本市では、大規模な震災被害からライフラインを守り、水道水の安定供給を図るため、浄水施設の耐震補強を計画的に進めています。令和元年度にロクハ浄水場の耐震化を完了し、令和2年度から北山田浄水場の耐震補強を実施しており、併せて浄水施設および関係施設のうち、浸水が想定される区域に位置している施設の浸水対策を行います。

【施設概要】

施設能力:19,950m³/日

【スケジュール】

令和7年度～令和8年度 薬品沈殿池等耐震補強工事、浸水対策工事、取水井新設工事
令和9年度以降 排水処理施設等の耐震補強工事、浸水対策工事

<事業の目的・効果>

水道事業の主要施設である浄水場の耐震補強および浸水が想定される区域に位置している施設の浸水対策を行うことで、災害に強いライフラインを確保し、市民への水道水の安定供給を図ります。

 	経費の内訳	
	【薬品沈殿池等耐震補強・浸水対策工事】	
工事費	621,074	
工事監理費	11,374	

DX推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	福祉DX推進費		区分	新規
令和8年度 事業費	担当部局・所属	健康福祉部	生活支援課・障害福祉課・健康増進課	
	財源内訳			
	国庫支出金	県支出金	市債	その他
7,569	2,748			4,821

<事業の概要>

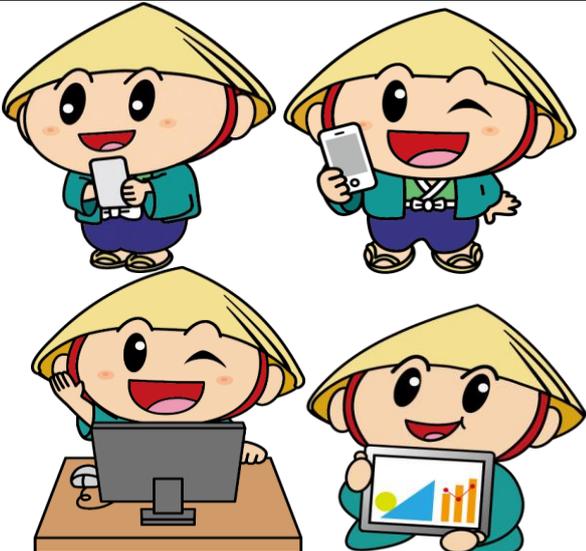
健康福祉分野において、デジタル技術を活用した業務効率化を進めることにより、行政サービスの向上につなげるDXの取組を推進し、市民の利便性の向上を図ります。

【主な内容】

- ・生活保護ケースワーク業務DX推進事業
生活保護ケースワークAI支援サービス(根拠法令等の検索システムおよび生成AIを活用した面談業務支援システム)の導入により、業務のデジタル化を推進し、被保護者世帯の個々の状況に応じたきめ細やかな支援を推進します。
- ・福祉窓口DX推進事業
聴覚障害のある人などが来庁された際に、より円滑な窓口相談業務を行うため、会話を文字として表示する透明ディスプレイを導入します。
- ・予防接種料等免除申請におけるDX推進事業
予防接種料および各種けん診受診料の免除申請について、草津市電子申請サービスを活用することで、免除申請に係る申請者の負担軽減と事務手続きの効率化を図ります。併せて、窓口にタブレット(電子申請用端末)を設置し、来庁された人についても電子申請による免除申請を促進することで、書かない窓口サービスを推進します。

<事業の目的・効果>

デジタル技術を活用し、市民の利便性の向上を図るとともに、業務効率化による職員の事務負担軽減をとおして、行政サービスの更なる向上を図ります。

	経費の内訳
	【生活保護ケースワーク業務DX推進費】 システム導入およびタブレット購入費 6,141 その他事務費 442 【福祉窓口DX推進費】 透明ディスプレイ設置費 793 【予防接種料等免除申請におけるDX推進費】 タブレット設置費 193

DX推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	電子版母子手帳導入費、乳幼児健診質問票DX推進費			区分	新規
令和8年度 事業費	担当部局・所属	こども若者部		子育て相談センター	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,647	4,823				4,824

<事業の概要>

電子版母子健康手帳を導入し、スマートフォン等による妊娠届出時のアンケートの事前入力や、乳幼児健診の質問票の事前入力等が行える環境を整え、利用者の利便性の向上を図ります。また、妊娠記録やこどもの成長記録を確認できるようになるとともに、妊娠期やこどもの月齢・年齢に応じ必要な時期に情報をお届けし、子育てをサポートします。

【主な内容】

- ・妊娠届や子育て期の各種アンケートのデジタル化
- ・乳幼児健康診査質問票のデジタル化
- ・妊娠期から子育て期の必要な情報の発信

【スケジュール】

- 令和8年10月 電子版母子健康手帳の運用開始
- 令和9年 1月 乳幼児健診の質問票デジタル化開始(10か月児健診、1歳6か月児健診、2歳6か月児健診、3歳6か月児健診)

<事業の目的・効果>

電子版母子健康手帳の活用により保護者の負担軽減と利便性の向上を図り、更なる子育て支援の充実につなげるとともに業務の効率化を図ります。

	経費の内訳	
	電子版母子手帳導入費	3,666
	乳幼児健診質問票DX推進費	5,981

DX推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	漏水対応等体制強化事業費			区分	新規
令和8年度 事業費	担当部局・所属	上下水道部		上下水道総務課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,187					3,187

<事業の概要>
全国的に管路の老朽化が進む中、水道管漏水事故や下水道管の老朽化が起因した道路陥没事故が発生しています。
水道管漏水事故等が発生した際には、住民生活への影響を最小限にすることが重要です。
こうしたことから、令和8年度は遠隔でのライブ映像による、「現場の見える化」を可能とする映像通話システムを導入し、現場の状況をいち早く正確に把握し、迅速な事故対応等を図ります。

【主な内容】
映像通話システムの導入

【スケジュール】
令和8年4月～9月 システムの導入、試験運用
令和8年10月～ 運用開始

<事業の目的・効果>
漏水時等に、映像通話システム専用のスマートフォンやPCを利用し、遠隔でのライブ映像によるリアルタイムでの現場状況の把握や情報共有を行うことで、初動時および対応時における的確な判断と迅速な対応を図ります。



【令和5年度に草津市内で発生した水道管漏水事故】

経費の内訳	
システム導入費	2,492
システム利用料	695

DX推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	校務DX推進費			区分	拡大
令和8年度 事業費	担当部局・所属	教育委員会		学校政策推進課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
7,050				繰	7,050

<事業の概要>

「教育の情報化」の行動計画である「草津市学校教育情報化推進計画第2期計画」に基づき、校務DXを更に推進し、教職員の働き方改革の促進および児童生徒へのきめ細やかで適切な指導・対応の充実を目指します。

【主な内容】

・デジタル健康観察

小中学校において、毎朝各教室で実施する健康観察について、令和7年度に実施した校務のロケーションフリー(※)化を基盤に、各担任が紙ベースで実施後に養護教諭が集約および校務支援システムへ個別入力する従来の運用を、各担任が教室でシステム上の顔写真付き画面へ直接入力することで、情報共有および出席簿等への反映が自動で行えるデジタル健康観察の機能を導入します。

・デジタル採点システム

中学校において、教科担任が複数クラス分の採点を行う定期テスト等の採点業務について、記号問題の自動採点機能や、問題ごとに全員分の回答を一画面で一覧表示することにより採点を効率化する機能等を備えたシステムを導入します。

【スケジュール】

令和8年7月 デジタル健康観察 運用開始
令和8年9月 デジタル採点システム 運用開始

※セキュリティを担保した上で、場所を選ばずどこでも校務情報にアクセスできる環境

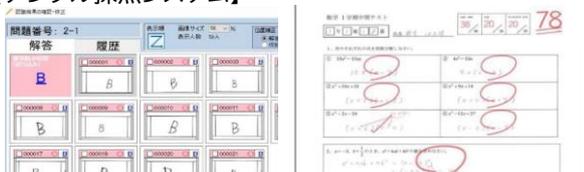
<事業の目的・効果>

デジタル健康観察については、健康観察実施時に、校務支援システム上の顔写真付き画面への直接入力を行うことで、入力ミス防止および効率化を図るだけでなく、朝活動時間の有効活用を実現するとともに、必要な児童生徒対応の早期化、感染症対策の迅速化を目指します。また、デジタル採点システムについては、中学校の校務において、時間や労力を要する定期テスト等の採点業務の効率化を図ります。これらのシステムの有効活用により、学校経営の高度化や働き方改革を進め、児童生徒へのきめ細やかで適切な指導・対応の充実を目指します。

【デジタル健康観察】



【デジタル採点システム】



経費の内訳

デジタル健康観察導入・運用費	6,530
デジタル採点システム導入・運用費	520

行財政マネジメント

(単位:千円)

事業名	第6次草津市総合計画第2期基本計画推進費			区分	継続
令和8年度 事業費	担当部局・所属		総合政策部	企画調整課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
5,322					5,322

<事業の概要>

第6次草津市総合計画第2期基本計画に基づき、市の諸施策を着実に推進するとともに、計画の進捗を図るうえでの参考指標として取り入れた「地域幸福度(Well-Being)指標」を活用しながら、総合力をもってまちづくりを進めます。

※「地域幸福度(Well-Being)指標」とは、主観指標と客観指標から市民の「暮らしやすさ」と「幸福感」を数値化し、可視化するものであり、国において活用が推奨されています。

【主な内容】

- ・草津市のまちづくりについての市民意識調査の実施
- ・草津市の「地域幸福度(Well-Being)指標」アンケート調査の実施
- ・「地域幸福度(Well-Being)指標」活用のための職員研修の実施
- ・「地域幸福度(Well-Being)指標」活用のためのワークショップの実施

<事業の目的・効果>

草津市のまちづくりについての市民意識調査の実施により、総合計画の取組に係る市民の満足度を把握し、毎年度の取組の評価・改善に生かすことで、将来に描くまちの姿の実現に向けた取組の着実な進捗を図ります。

また、「地域幸福度(Well-Being)指標」を活用した政策デザインを習得するための職員研修やワークショップの実施等を通じて、市民の幸福感や生活満足度を高める取組を進め、将来に描くまちの姿である「ひと・まち・ときをつなぐ 絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津」の実現に向け、市民のウェルビーイング向上を図ります。

	経費の内訳	
	まちづくりについての市民意識調査費	
「地域幸福度(Well-Being)指標」アンケート調査費		879
ウェルビーイング職員研修費		3,044
ウェルビーイングワークショップ開催費		329

行財政マネジメント

(単位:千円)

事業名	職員採用対策強化費			区分	新規
令和8年度 事業費	担当部局・所属 総合政策部			職員課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,741					4,741

<事業の概要>

職員採用試験において受験者数の減少が続いており、ピーク時の半分以下にまで低下してきていることから、令和8年度から職員採用試験の実施方法について見直しを行い、受験者数の増加を図ります。

[主な内容]

【テストセンター方式の導入】

職員採用試験の筆記試験については、現在、市内の指定する試験会場で実施していますが、会場へ訪れる受験者の負担や他の地方公共団体と試験日程が重なることによる受験機会の喪失、会場準備などに係る職員の負担が課題となっています。

これらの課題を解決するため、全国各地での受験が可能であるテストセンター方式を導入し、受験者および職員の負担軽減と受験者数の増加を図ります。

(スケジュール)

・春実施枠・・・3月上旬～6月末

・秋実施枠・・・10月上旬～12月末

【採用管理システムの導入】

受験申込から採用決定までの一連の手続きをインターネットの専用サイトで完結できるよう採用管理システムを導入し、受験者および職員の利便性向上や負担軽減を図ります。

<事業の目的・効果>

職員採用においてテストセンター方式および採用管理システムの導入を行うことで、受験者および職員の利便性向上や負担軽減を図り、安定的な人材確保につなげます。

<p>令和8年度 (2026年度) から</p> <p>大学卒業程度(上級職)の 草津市職員採用試験が 受けやすくなります!</p> <p>年2回の実施で、受けるチャンスが増えます</p> <p>令和8(2026)年度から 令和7(2025)年度まで</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>春実施枠</th> <th>秋実施枠</th> <th>統一試験</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>募集期間</td> <td>3月上旬～3月末</td> <td>10月上旬～10月末</td> <td>5月中旬～6月中旬</td> </tr> <tr> <td>第一次試験</td> <td>4月中</td> <td>11月中旬</td> <td>7月中旬</td> </tr> <tr> <td>第二次試験</td> <td>5月中旬</td> <td>12月上旬</td> <td>8月上旬</td> </tr> <tr> <td>第三次試験</td> <td>6月上旬</td> <td>なし</td> <td>8月下旬</td> </tr> <tr> <td>最終合格発表</td> <td>前年度より3ヶ月早い 6月下旬</td> <td>12月下旬</td> <td>9月中旬</td> </tr> </tbody> </table> <p>春実施枠 テストセンター方式を導入、全国各地で受けられます</p>		春実施枠	秋実施枠	統一試験	募集期間	3月上旬～3月末	10月上旬～10月末	5月中旬～6月中旬	第一次試験	4月中	11月中旬	7月中旬	第二次試験	5月中旬	12月上旬	8月上旬	第三次試験	6月上旬	なし	8月下旬	最終合格発表	前年度より3ヶ月早い 6月下旬	12月下旬	9月中旬	<p>経費の内訳</p> <table border="1"> <tr> <td>テストセンター方式導入・運営費</td> <td>2,733</td> </tr> <tr> <td>採用試験システム導入・運営費</td> <td>594</td> </tr> <tr> <td>その他事務費</td> <td>1,414</td> </tr> </table>	テストセンター方式導入・運営費	2,733	採用試験システム導入・運営費	594	その他事務費	1,414
		春実施枠	秋実施枠	統一試験																											
募集期間	3月上旬～3月末	10月上旬～10月末	5月中旬～6月中旬																												
第一次試験	4月中	11月中旬	7月中旬																												
第二次試験	5月中旬	12月上旬	8月上旬																												
第三次試験	6月上旬	なし	8月下旬																												
最終合格発表	前年度より3ヶ月早い 6月下旬	12月下旬	9月中旬																												
テストセンター方式導入・運営費	2,733																														
採用試験システム導入・運営費	594																														
その他事務費	1,414																														

行財政マネジメント

(単位:千円)

事業名	カスタマーハラスメント対策事業費			区分	新規
令和8年度 事業費	担当部局・所属	総合政策部 総務部 他		職員課 総務課 他	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
60,676				使 1,510	59,166

<事業の概要>

令和7年6月11日に公布された改正労働施策総合推進法(令和8年10月施行予定)により、カスタマーハラスメント対策が事業主に義務化されることを踏まえ、カスタマーハラスメントおよび不当要求行為の対策の一環として、音声案内付き電話録音装置および防犯カメラの設置を行います。

【主な内容】

・音声案内付き電話録音装置を設置

対象施設:公共施設(指定管理施設を含む。) 106施設

設置基準:電話交換機のある施設は、電話交換機に自動音声案内・録音機能装置を付加
電話交換機のない施設は、個々の電話機に音声案内機能付録音装置を設置

・防犯カメラを設置

対象施設:公共施設(指定管理施設を含む。) 88施設 計135台

設置基準:不特定多数のサービス利用者への一次対応を行う窓口カウンター1か所に設置
(施設の構造上、複数設置が必要な場合のみ2か所以上に設置)

【スケジュール】

令和8年4月～ 防犯カメラの整備、施設ごとに順次運用開始
令和8年12月 音声案内付き電話録音装置の運用開始

<事業の目的・効果>

カスタマーハラスメント対策を行うことで、職員が安心して働くことができる職場環境を整え、より良い市民サービスの提供につなげます。

		経費の内訳	
		音声案内付き電話録音装置設置費	33,345
		防犯カメラ設置費	27,331

行財政マネジメント

(単位:千円)

事業名	事務事業の整理合理化			区分	継続
令和8年度 事業費	担当部局・所属	総合政策部		経営戦略課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
△ 12,834					△ 12,834

<事業の概要>

令和7年度から取組を開始した「第2期草津市行政経営改革プラン(令和7年度～令和10年度)」に基づき、業務見直し工程表(スクラップロードマップ)※の策定や、当初予算編成時における事業費の削減等を通じて事務事業の整理合理化を行うことにより、新たな行政課題に対応するための財源・時間の創出や、最適な経営資源の配分を図ります。

※業務見直し工程表(スクラップロードマップ)について

事業等の抜本的な見直しの徹底と、将来を見据えた「選択と集中」を推進するための手法(ツール)として、事業の課題整理や手法の検討、関係者等への説明を計画的に進めるため、3年間(令和8～10年度)の工程を定めたものです。

<事業の目的・効果>

高齢化の進展や人口減少を背景に行政を取り巻く環境が一段と厳しさを増すことが想定される中であって、多様化・複雑化する市民ニーズに的確に対応するため、限りある人員や財源等の経営資源を有効に活用することにより、時代の変化に対応した最適な行政サービスを創出・提供します。

	経費の内訳		
	事業、業務の廃止	7件	△ 2,189
	事業、業務の見直し	5件	△ 10,645
	※内数 上記の廃止、見直しのうち 業務見直し工程表に関するもの 5件		△ 179

令和8年度 計画策定費 一覧

後年度に策定・見直し等を予定している各種計画のうち、令和8年度は下表の計画の策定・見直しを行います。

(単位:千円)

計画名 (計画期間)	担当部局・所属		事業費		財源内訳		
					国県支出金	その他	一般財源
第2次農業振興計画策定費 (令和4年度～令和14年度) ※令和8年度は中間見直し	環境経済部	農林水産課	令和8年度	4,412			4,412
第3次一般廃棄物(ごみ)処理基本計画策定費 (令和4年度～令和14年度) ※令和8年度、令和9年度は中間見直し	環境経済部	資源循環推進課	令和8年度	13,677			13,677
			債務負担行為 (令和9年度)	3,700			3,700
あんしんいきいきプラン第10期計画策定費 (令和9年度～令和11年度)	健康福祉部	長寿いきがい課	令和8年度	4,422			4,422
第2次自転車安全安心利用促進計画策定費 (令和9年度～令和18年度)	都市計画部	交通政策課	令和8年度	4,569			4,569
都市計画マスタープランおよび立地適正化計画 策定費 (都市マスタープラン 令和3年度～令和21年度、 立地適正化計画 平成30年度～令和21年度) ※令和8年度、令和9年度は随時見直し	都市計画部	都市計画課	令和8年度	10,213	国 2,000		8,213
			債務負担行為 (令和9年度)	9,700	国 3,900		5,800
市営住宅長寿命化計画策定費 (令和9年度～令和18年度)	建設部	市営住宅課	令和8年度	11,400	国 5,665		5,735
草津市水道ビジョン策定費 (令和4年度～令和15年度) ※令和8年度、令和9年度は中間見直し	上下水道部	上下水道総務課	債務負担行為 (令和9年度)	23,400			23,400
草津市下水道事業経営計画策定費 (令和4年度～令和15年度) ※令和8年度、令和9年度は中間見直し	上下水道部	上下水道総務課	債務負担行為 (令和9年度)	18,100			18,100

ありがとう



草津市公認マスコットキャラクター

たび丸